

2021 年 4 月分新聞書評



日本沈没<上>(角川文庫 こ2-17)

小松 左京 著

KADOKAWA

鳥島の南東にある無人島が一夜にして海中に沈んだ。深海潜水艇の操艇責任者の小野寺は、地球物理学の田所博士とともに調査し、海底の異変に気付く。以後、日本各地で地震や火山噴火が頻発し…。日本 SF 史に輝くベストセラー。

2020.4./ 398p

978-4-04-109118-0

本体 ¥660〔税込〕



産経新聞 2021/04/03



日本沈没<下>(角川文庫 こ2-18)

小松 左京 著

KADOKAWA

ついに巨大地震が東京を襲い、富士火山帯の火山が相次いで噴火。一方、田所博士が中心となって立ち上げた「D 計画」の一員となった小野寺は、「日本列島は沈没する!?!」との見出しがついた週刊誌を目にし…。

2020.4./ 406p

978-4-04-109119-7

本体 ¥660〔税込〕



産経新聞 2021/04/03



幕末維新の師弟学～出会いが生んだ近代日本～

加来耕三 著

淡交社

吉田松陰と高杉晋作、緒方洪庵と福沢諭吉、尾高惇忠・フリュリ=エラルと渋沢栄一…。明治日本の成功を、幕末維新の師と弟子の関係を通して明らかにし、これからの日本の未来を考える。

2021.1./ 242p

978-4-473-04426-6

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/04/03



よけいなひとと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑

大野萌子 著

サンマーク出版

ポジティブなコミュニケーションのコツが身につくと、好感、好印象を与えるようになって、信頼関係を築けるようになる。「よけいなひとと言」を「好かれるセリフ」に言い換えるパターンを 141 例紹介する。

2020.8./ 318p

978-4-7631-3801-9

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/03

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 5 月時点での税込み価格です。



教師という接客業

齋藤 浩 著
草思社

いびつな「顧客志向」が学校をダメにする! 現役の公立小学校教師が、「接客業化」によって機能不全に陥りかけている学校の実態を生々しく綴る。教師たちのリアルな体験を紹介しつつ、教育の本来の役割を問い直す。

産経新聞 2021/04/03

2020/7./ 214p
978-4-7942-2458-3
本体 ¥1,650〔税込〕



結核がつくる物語〜感染と読者の近代〜

北川 扶生子 著
岩波書店

近代最大の感染症・結核は「治療法のない死病」として長く恐れられた。思想統制から戦争に向かう厳しい時代のなかで、患者が置かれた状況を医学・政策・メディア・文学からあぶりだし、患者たちの書く営みの意味を考える。

産経新聞 2021/04/04

2021/1./ 8p,201p,6p
978-4-00-061448-1
本体 ¥2,750〔税込〕



きみの傷跡

藤野 恵美 著
KADOKAWA

男子校出身の先輩と、かつて性被害に遭った新入生の女子。ふたりは恋に落ち、つきあいはじめるが…。不器用な大学生ふたりの、優しくみずみずしい青春恋愛ストーリー。『カドブンノベル』連載を加筆修正し書籍化。

産経新聞 2021/04/04

2021/3./ 375p
978-4-04-109989-6
本体 ¥1,760〔税込〕



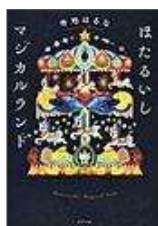
鳥獣戯画のヒミツ

宮川 禎一 著
淡交社

生き生きとした筆づかいで愛嬌たっぷりに動物たちを描いた「鳥獣戯画」。「月の世界」「大唐西域記」「明恵上人」をキーワードに、動物たちの正体やストーリーの真意など、多くの謎を文学的に読み解き、絵巻のヒミツに迫る。

産経新聞 2021/04/04

2021/2./ 191p
978-4-473-04457-0
本体 ¥1,870〔税込〕



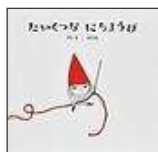
ほたるいしマジカルランド

寺地 はるな 著
ポプラ社

大阪の北部にある「ほたるいしマジカルランド」では、名物社長を筆頭にたくさんの人々が働いている。お客様に笑顔になってもらうため、日々奮闘する従業員。そんなある日、社長が入院したという知らせが入り…。お仕事小説。

産経新聞 2021/04/04

2021/2./ 283p
978-4-591-16903-2
本体 ¥1,760〔税込〕



たいくつなにちようび

MICA O 著
理論社

お父さんお母さんと遊びにいくはずだったにちようびが、急にがっかりなことになってしまった。そんなおとこのこのまえに、ステッチさんが現れた。ステッチさんが刺したテントに入ると、刺?のサーカスが始まって…。

産経新聞 2021/04/04

2021/3./ 31p
978-4-652-20419-1
本体 ¥1,595〔税込〕





父を撃った12の銃弾

ハンナ・ティンティ 著

文藝春秋

12歳の少女ルーは、父とともに亡き母の故郷に移り住む。だが、母方の祖母は父娘に会おうとしない。父の体に残る幾つもの弾傷は…。父の暗い過去と母の死の謎を追う少女を、美しくリカルに描いた青春ミステリー。

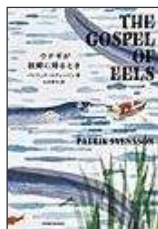
2021.2./ 375p

978-4-16-391336-0

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/04/04、朝日新聞 2021/04/17



ウナギが故郷に帰るとき

パトリック・スヴェンソン 著

新潮社

アリストテレスの時代から、不思議な生態で人々を魅了してきたウナギ。彼らはどこから来てどこへ行くのか。今なお謎に包まれたウナギの一生を解き明かしつつ、我々に「生きることの意味」を問いかける本。

2021.1./ 267p,4p

978-4-10-507241-4

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/04/04、読売新聞 2021/04/18



世界は善に満ちている～トマス・アキナス哲学講義～(新潮選書)

山本 芳久 著

新潮社

どんなネガティブな感情も、論理で丁寧に解きほぐすと、その根源には「愛」が見いだせる。中世哲学の最高峰「神学大全」の感情論を、学生と教師の対話形式でわかりやすく解説し、自己と世界を共に肯定して生きる道を示す。

2021.1./ 316p

978-4-10-603861-7

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/04/04、毎日新聞 2021/04/17



これでおしまい

篠田 桃紅 著

講談社

人間は死ぬまで一生迷路に入っているんです。迷いと、自ずから何とかなるだろうという楽観的な考え方がいつもやり合っている。107歳、世界的美術家が遺した「人生のこぼれ」をまとめる。

2021.3./ 255p

978-4-06-517717-4

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/04、毎日新聞 2021/04/17、読売新聞 2021/04/25



黒い雲と白い雲との境目にグレーではない光が見える

26人のがんサバイバー あの花プロジェクト／岡野 大嗣／西 淑 著

左右社

?の声まぶしく耳をつんざいて歪んだ脳に「生きろ」と響く 鍵もたず朝の玄関でるように母と別れた手術室前 がんサバイバー当事者の女性たちが闘病中の思いを表現した、闘病の不安に寄り添う短歌集。本体は背表紙なし糸綴じ。

2021.2./ 106p

978-4-86528-017-3

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/04/10



こんな日もある～競馬徒然草～

古井 由吉 著

講談社

年々歳々、馬とともに春夏秋冬をめぐり、移り変わる人と時代を見つめ続けた作家が、30余年にわたり書き継いだエッセイを書籍化。高橋源一郎の解説も収録。『優駿』連載を書籍化。

2021.2./ 297p

978-4-06-522270-6

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/04/11



美智子さまのいのちの旅～未来へ～

渡邊 みどり 著

講談社

国民に寄り添って生きてこられ、国民の憧れでありお手本であった美智子さま。昭和天皇の崩御、退位などを中心に、これまでの歩みを振り返りながら、「人生最後の大事な仕事」である終い方への取り組みを伝える。

産経新聞 2021/04/11

2021.4./ 189p

978-4-06-523456-3

本体 ¥1,650〔税込〕



墮ちたバンカー～國重惇史の告白～

児玉 博 著

小学館

「伝説の MOF 担」として名を馳せ、イトマン事件を内部告発し、「住友銀行の救世主」に。銀行を追われ、楽天副会長に転身。スキャンダルで辞任し、「住友銀行秘史」を著す…。國重惇史の栄光と転落のすべてを描く。

産経新聞 2021/04/11

2021.2./ 318p

978-4-09-388762-5

本体 ¥1,980〔税込〕



小林秀雄の眼

江藤 淳 著

中央公論新社

小林秀雄は何をどう見ていたのか。批評眼が冴えわたる小林の言葉を選び抜き、丁寧な解説を施した、江藤淳の幻のコラム43本を初の書籍化。関連エッセイと対談も併せて収録する。

産経新聞 2021/04/11

2021.2./ 189p

978-4-12-005398-6

本体 ¥1,430〔税込〕



東京パンデミック～写真がとらえた都市盛衰～(早稲田新書 005)

山岸 剛 著

早稲田大学出版部

メント・モリか、それともカルペ・ディエムか…。気鋭の写真家が、コロナ禍で撮影したモノクロ写真とともに、「自然の摂理」を問う。ウイルスがあぶり出した「都市」と「人間」の病理に迫るフォトエッセー。

産経新聞 2021/04/11

2021.4./ 198p

978-4-657-21007-4

本体 ¥990〔税込〕



脚本の科学～認知と知覚のプロセスから理解する映画と脚本のしくみ～

ポール・ジョセフ・ガリーノ、コニー・シアーズ、石原 陽一郎 著

フィルムアート社

映画を見ると、頭の中では何が起きているのか？ なぜ「スター・ウォーズ」の冒頭で、巨大な宇宙船が小さな宇宙船を追うのか？ 認知神経科学の観点から、すぐれた映画脚本とはどういうものかを解説する。

産経新聞 2021/04/11

2021.1./ 242p,3p

978-4-8459-1925-3

本体 ¥2,640〔税込〕



名前のないことば辞典(YUEISHA DICTIONARY)

出口 かずみ 著

遊泳舎

うずうず、かつかつ、ぐるぐる…。オノマトペや感嘆詞などのうち、同じ語が2つつながった言葉たち。物事を表現する際に便利に使う「名前のないことば」を、いぬやあひるなど7種類の動物たちの日常に溶け込ませて紹介する。

産経新聞 2021/04/11

2021.2./ 271p

978-4-909842-06-0

本体 ¥1,980〔税込〕





回想脳～脳が健康でいられる大切な習慣～

瀧 靖之 著

青春出版社

人、町並み、音楽、香り、味...「懐かしさ」が前に進む力を引き出す。記憶×知的好奇心・運動・コミュニケーションで、楽しみながら脳を刺激する「回想脳ワーク」を紹介する。

2021.3./ 190p

978-4-413-23198-5

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/17



沢村栄治～裏切られたエース～(文春新書 1300)

太田 俊明 著

文藝春秋

親族の巨額の借金、三度の徴兵、そして巨人からの非情な解雇…。プロ野球投手最高の栄誉のひとつ、「沢村賞」に名を残す沢村栄治について、自身も六大学野球で活躍した著者が描く。

2021.2./ 277p

978-4-16-661300-7

本体 ¥1,155〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



「いいね」を言葉に変えるほめツボ辞典

話題の達人倶楽部 編

青春出版社

ほんの少し「言葉のかけ方」を変えれば、あの人との距離はグンと近くなる! 人の仕事ぶりや能力から、性格、趣味やファッションまで、あらゆるタイプ・状況・人間関係に対応した、多彩なほめ言葉を紹介する。

2021.3./ 239p

978-4-413-11353-3

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



あるヴァイオリンの旅路～移民たちのヨーロッパ文化史～

フィリップ・ブローム 著

法政大学出版局

気候変動、戦争、疫病、経済変化、生きるために移民となりヨーロッパ文化を陰で支えた無名の人々…。偶然手に入れた無銘のヴァイオリンに愛着を感じた著者が、その来歴を探る旅を通してヨーロッパ 300 年の歴史を描く。

2021.2./ 357p,9p

978-4-588-35235-5

本体 ¥3,740〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



養老先生、病院へ行く

養老 孟司／中川 恵一 著

エクスナレッジ

自身の大病、愛猫の死。養老孟司が医療との関わり方、病院嫌いの本当の理由、医療の限界と可能性、人生と死への向き合い方を、みずからがん患者である東大病院の名医とともに語る。ヤマザキマリとの鼎談も収録する。

2021.4./ 191p

978-4-7678-2881-7

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



暮らしと遊びの江戸ペディア

飯田 泰子 著

芙蓉書房出版

シャンプーは月 1 回、長屋の住人は無税…。江戸時代の世の中と人びとの暮らしにまつわる蘊蓄を、「天文」「生業」「暮らし」といった 6 つのカテゴリーに分けて紹介。300 項目すべてに挿絵を掲載する。

2021.2./ 198p

978-4-8295-0807-7

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



いのちとリスクの哲学～病災害の世界をしなやかに生き抜くために～

一ノ瀬 正樹 著

ミュー

依然として不気味な様相のもとでくすぶり続けている東日本大震災・福島第一原発事故に向き合ってきた哲学者が、新型コロナ問題にも注意を払いながら、困難や苦しみの中をしなやかに生き抜く道筋を示す。

2021.3./ 23p,372p

978-4-943995-27-2

本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2021/04/18



「何者」かになりたい～自分のストーリーを生きる～

三浦 崇宏 著

集英社

変化と充実を求めているなら-。令和の革命的クリエイター・三浦崇宏が、くつざわ、ゆうこす、佐渡島庸平ら 9 人の新時代のリーダーたちと対談。「何者」かになるためのヒントを探る。

2021.4./ 253p

978-4-08-788054-0

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/04/24



コピー年鑑<2020>

東京コピーライターズクラブ 著

宣伝会議

優れたコピーの広告に贈られる「TCC 賞」の受賞作品ほか、全優秀作を収録した年鑑。全作品、カラーの画面または誌面にコピーを添えて紹介。投票行動リストも公開する。

2021.3./ 815p

978-4-88335-513-6

本体 ¥22,000〔税込〕



産経新聞 2021/04/24



がんマラソンのトップランナー～伴走ぶっとび瀬古ファミリー！～

瀬古 昂 著

文藝春秋

産経新聞 2021/04/25

2021.3./ 197p

978-4-16-008991-4

本体 ¥1,430〔税込〕



マエストロ、ようこそ～日本クラシック界に歴史を刻む大芸術家たちと舞台芸術～

上坂 樹 編

広渡 勲 著

音楽之友社

クライバー、バレンボイム、メータら巨匠達から絶大な信頼を得て、日本のオペラ・舞台芸術界を約 60 年にわたり牽引してきた辣腕プロデューサーが明かす、芸術家たちとの交流と公演の記録。『音楽の友』連載を加筆し書籍化。

2020.12./ 255p

978-4-276-21005-9

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/04/25



覚醒するシスターフッド

サラ・カーリー／柚木 麻子／ヘレン・オイエイエミ／藤野 可織／文珍／大前 栗生／こだま／キム・ソンジュン／桐野 夏生／マーガレット・アトウッド 著

河出書房新社

現代を代表する国内外作家の傑作短編集。柚木麻子「パティオ 8」、桐野夏生「断崖式」、キム・ソンジュン「未来は長く続く」など全 10 編を収録。『文藝』掲載に書き下ろし、訳し下ろしを加えて書籍化。

2021.2./ 318p

978-4-309-02943-6

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/04/25



つまらない住宅地のすべての家

津村記久子 著

双葉社

静かに並ぶ住宅地の家々。ある出来事をきっかけに、それぞれの家の、それぞれの事情が見えてきて…。日々いろいろな思いを抱えて暮らす人々を、たくみな構成と描写で浮き彫りにした長編小説。『小説推理』連載を単行本化。

2021:3./ 238p

978-4-575-24385-7

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/04/25



人を知り、心を動かす～リーダーの仕事を最高に面白くする方法～

井上 礼之 著

プレジデント社

チームを作るとは、「一人ひとり」を束ね、動かすこと。150 カ国以上に事業展開し、8 万人を率いるダイキン工業会長が、自身の考えや実践してきたことを述べる。

2021:3./ 239p

978-4-8334-5177-2

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/04/25



ぼくにはこれしかなかった。

早坂大輔 著

木楽舎

ぼくは 40 歳を過ぎてからこの小さな街に小さな本屋を作った。誰に笑われてもかまわなかった。それはぼくの人生で、生きることのすべてだったのだから。盛岡「BOOKNERD」店主の物語。「ぼくの 50 冊」も収録。

2021:3./ 221p

978-4-86324-151-0

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/04/25



方法序説(岩波文庫 青 613-1)

デカルト, R. 著

岩波書店

すべての人が真理を見いだすための方法を求めて、思索を重ねたデカルト(1596-1650)。「われ思う、ゆえにわれあり」は、その彼がいつさいの外的権威を否定して達した、思想の独立宣言である。本書で示される新しい哲学の根本原理と方法、自然の探求の展望などは、近代の礎を築くものとしてわたしたちの学問の基本的な枠組みをなしている。

1997:7./ 137p

978-4-00-336131-3

本体 ¥572〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



老婦人マリアンヌの部屋

荻野アンナ 著

朝日新聞出版

青い部屋で老婦人はベッドに横たわるが、ときにフランス小話も語る。仲間に囲まれた老婦人は、シニア婚活パーティーで意外な若き日の過去に出会うが…。どこか陽気な連作短編集。『小説トリッパー』連載に加筆修正。

2021:2./ 250p

978-4-02-251745-6

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



檻の中の裁判官～なぜ正義を全うできないのか～(角川新書 K-349)

瀬木 比呂志 著

KADOKAWA

国家に“人事と金”を握られ良心を捻じ曲げられた「囚人」たちが冤罪を生み出す! 元判事の著者が、日本の裁判官をめぐる疑問、課題、問題点など閉ざされ歪んだ司法の世界にメスを入れ、改善への道を示す。

2021:3./ 316p

978-4-04-082377-5

本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



妖怪少年の日々〜アラマタ自伝〜

荒俣 宏 著

KADOKAWA

知の巨人・荒俣宏はいかにして形作られたか。海や虫やお化けと戯れた少年時代、幻想・怪奇文学に出会った学生時代、「世界大博物図鑑」を完成させた社会人時代…。人生の軌跡を網羅した自伝。『怪』『怪と幽』連載を加筆修正。

朝日新聞 2021/04/03

2021.1./ 467p

978-4-04-109699-4

本体 ¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 6 9 9 4 *



月(角川文庫 へ 3-15)

辺見 庸 著

KADOKAWA

善良無害をよそおう社会の表層をめくりかえし、誰もが見て見ぬふりをする暗がりを白日の下にさらす! 相模原の障がい者 19 人殺害事件に着想した、大量殺人の静かなる物語。

朝日新聞 2021/04/03

2021.2./ 387p

978-4-04-111150-5

本体 ¥1,034〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 1 1 1 5 0 5 *



白木蓮はきれいに散らない(ビッグコミックススペシャル)

オカヤ イヅミ 著

小学館

私の人生って、このままでいいの? 専業主婦、キャリアウーマンなど、「しんどい現実」を生きる1963年生まれの3人の女性をあたかな眼差しで描き出したコミック。『女性セブン』連載を再構成し大幅に加筆・修正。

朝日新聞 2021/04/03

2021.3./ 230p

978-4-09-179348-5

本体 ¥1,320〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 1 7 9 3 4 8 5 *



終身刑の女(小学館文庫 ク 8-1)

レイチェル・クシュナー 著

小学館

貧困な家庭に生まれ、ドラッグや万引きを繰り返したロミー。ストーカーを殺した罪で逮捕され、幼き息子を残したまま、一生塙の外に出られない身となった。ロミーは絶望の果てに、最愛の息子に会うため脱獄を企てるが…。

朝日新聞 2021/04/03

2021.2./ 493p

978-4-09-406669-2

本体 ¥1,243〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 4 0 6 6 6 9 2 *



植物は<知性>をもっている〜20の感覚で思考する生命システム〜

ステファノ・マンクーゾ、アレッサンドラ・ヴィオラ、久保 耕司 著

NHK出版

動けないからこそ、植物は植物独自の“社会”を築き、ここまで地球上に繁栄してきた。その知略に富んだ生き方を、植物学の世界的第一人者が長年にわたり科学的に分析し、明らかにする。

朝日新聞 2021/04/03

2015.11./ 211p, 18p

978-4-14-081691-2

本体 ¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 6 9 1 2 *



アドラー 性格を変える心理学(NHK 出版新書 648)

岸見 一郎 著

NHK出版

性格は生まれつきではなく、社会的概念。自らが変わろうと決心すれば、必ず変えることができる。アドラー心理学を軸に、さまざまな性格の特徴を解説し、性格に関する常識を根底から覆す。

朝日新聞 2021/04/03

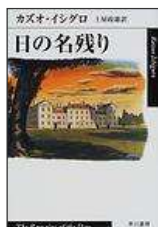
2021.3./ 261p

978-4-14-088648-9

本体 ¥990〔税込〕



* 9 7 8 4 1 4 0 8 8 6 4 8 9 *



日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著

早川書房

短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々……。遠い思い出は輝きながら胸のなかで生き続ける。失われゆく伝統的英国を描く英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。解説／丸谷才一

2001:5./ 365p

978-4-15-120003-8

本体 ¥836〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



わたしを離さないで(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著

早川書房

優秀な介護人キャシー・H は「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘールシャムの親友トミーやルースも「提供者」だった。キャシーは施設での奇妙な日々思いをめぐらす。図画工作に力を入れた授業、毎週健康診断、保護官と呼ばれる教師たちのごこちない態度……。彼女の回想はヘールシャムの残酷な真実を明かしていく。

2008:8./ 450p

978-4-15-120051-9

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



歴史探偵忘れ残りの記(文春新書 1299)

半藤 一利 著

文藝春秋

歴史に遊び、悠々と時代を歩んだ昭和史最良の語り部、半藤一利が遺したエッセイ集。歴史のよもやま話から、ことばのウンチク、悪ガキ時代を描いた自伝的エッセイまで収録する。絶筆となった「あとがき」も掲載。

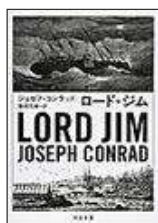
2021:2./ 268p

978-4-16-661299-4

本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



ロード・ジム(河出文庫 コ9-1)

ジョゼフ・コンラッド 著

河出書房新社

東洋のあちこちの港で船長番として厚い信頼を得ているジム。しかし彼には隠された暗い過去があった。喪失した誇りを取り戻す機会を激しく求める彼は、名誉を回復できるのか？ 海洋冒険小説の傑作。

2021:3./ 584p

978-4-309-46728-3

本体 ¥1,562〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



日本語の教養 100(河出新書 027)

今野 真二 著

河出書房新社

毎日使う日本語だから、ちょっとだけ深く理解しておきたい。語の意味とかたちと音、表記法のあれこれから、ユニークな辞書、ことばあそび、詩のことばまで、バリエーション豊かに贈る、教養ショートショート 100 話。

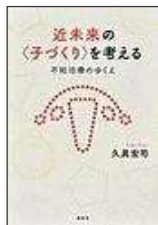
2021:2./ 248p,4p

978-4-309-63128-8

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



近未来の<子づくり>を考える～不妊治療のゆくえ～

久具 宏司 著

春秋社

現在導入されている、または近未来に導入されるであろう生殖技術の詳細を解説するとともに、これらの技術が一般化することによる子づくりの変容が、社会や国の在り方にどのような変革をもたらすのかを予測する。

2021.2./ 5p,206p,16p

978-4-393-71635-9

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



日本の盲点(PHP新書 1247)

開沼 博 著

PHP研究所

危機は脆弱な部分に破滅をもたらし、脆弱でない部分を焼け太りさせる。社会学者が3・11からコロナ禍まで、大転換の10年間を振り返り、見過ごされた問題を指摘する、『Voice』連載を新書化。

2021.3./ 254p

978-4-569-84855-6

本体 ¥1,023〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



松田道雄～子どものものさし～(STANDARD BOOKS)

松田 道雄 著

平凡社

「育児の百科」を著し、現代にもつながる育児思想を普及させた小児科医が、人間らしい社会の実現と生きることの意味を追い求める中で見出した、様々な命の姿を綴る。松田道雄をもっと知るためのブックガイドも掲載。

2021.2./ 215p

978-4-582-53178-7

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



プシコナウティカ～イタリア精神医療の人類学～

松嶋 健 著

世界思想社

なぜイタリアは精神病院を廃絶したのか。その背景にどのような考えがあったのか。イタリア精神医療の歴史と現状を展望し、「人間」を中心にすえた地域での集合的な生のかたちを描く。

2014.6./ 3p,472p

978-4-7907-1625-9

本体 ¥6,380〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



コンヴァージェンス・カルチャー～ファンとメディアがつくる参加型文化～

ヘンリー・ジェンキンス／渡部 宏樹／北村 紗衣 著

晶文社

メディア研究の第一人者が<コンヴァージェンス>理論を用いトランスメディアの複雑な関係を読みとく書。ファンと産業界が切り開いてきた豊かな物語世界の軌跡を辿り、参加型文化にこれからの市民社会を築く可能性を見出す。

2021.2./ 553p

978-4-7949-7248-4

本体 ¥4,070〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



土と内臓～微生物がつくる世界～

デイビッド・モントゴメリー、アン・ビクレ、片岡 夏実 著

築地書館

マイクロバイーム研究で明かされた人体での驚くべき微生物の働きと、土壌での微生物相の働きによる豊かな農業とガーデニング。微生物研究と人間の歴史を振り返り、微生物と動植物との共生関係、免疫との関わりを紹介する。

2016.11./

12p,333p,36p

978-4-8067-1524-5

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03



分解者たち～見沼田んぼのほとりを生きる～

猪瀬 浩平、森田 友希 著

生活書院

「とるに足らない」とされたものたちの思想に向けて。障害、健常、おとな、こども、蠢く生き物たち…。首都圏の底<見沼田んぼ>の農的営みから、どこにでもありそうな街を分解し、見落とされたモノたちと出会い直す。

朝日新聞 2021/04/03

2019:4./ 412p

978-4-86500-094-8

本体 ¥2,530〔税込〕



花束みたいな恋をした～ノベライズ～

坂元 裕二／黒住 光 著

リトル・モア

あなたは思い出しますか？ ふたりで過ごしたあの部屋と時間を、ベランダからの景色を、川辺の帰り道を…。すべての恋の思い出に捧ぐ、珠玉のラブストーリー。2021 年 1 月公開映画のノベライズ。

朝日新聞 2021/04/03

2021:1./ 190p

978-4-89815-534-9

本体 ¥1,100〔税込〕



蔓延する東京～都市底辺作品集～

武田 麟太郎 著

共和国/editorial republica

関東大震災から復興をとげた 1930 年代の東京。貧困が深刻化し、戦争に突入する時代に帝都の底辺をアクトリアルに描き出し、ファシズムと対峙した武田麟太郎の都市文学を集成。『文藝春秋』版「暴力」を初収録する。

朝日新聞 2021/04/03

2021:1./ 397p

978-4-907986-77-3

本体 ¥3,850〔税込〕



マイノリティデザイン～「弱さ」を生かせる社会をつくろう～

澤田 智洋 著

ライツ社

苦手、できないこと、障害…人はみな、なにかの弱者・マイノリティ。弱さを生かせる社会をつくろう！福祉の世界に飛び込んだコピーライターが、マイノリティデザインの考え方や実践方法を伝える。ジャケット表面に点字あり。

朝日新聞 2021/04/03

2021:3./ 329p

978-4-909044-29-7

本体 ¥1,870〔税込〕



シリコンバレー最大の捏造スキャンダル全真相～BAD BLOOD～

ジョン・キャリールー 著

集英社

血液 1 滴ですべての病気がわかる。「エンロン」以来、最大の企業不正事件の舞台となった、血液検査ベンチャー「セラノス」。“第二のスティーヴ・ジョブズ”ともてはやされた若き CEO の不正隠蔽工作を報道記者が切り崩す。

朝日新聞 2021/04/03、産経新聞 2021/04/11

2021:2./ 415p

978-4-08-786126-6

本体 ¥2,090〔税込〕



クララとお日さま

カズオ・イシグロ 著

早川書房

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョージと出会い、やがて 2 人は友情を育んでいく。愛とは？ 知性とは？ 家族とは？ 生きることの意味を問う感動作。

朝日新聞 2021/04/03、東京・中日新聞 2021/04/18、毎日新聞 2021/04/24

2021:3./ 440p

978-4-15-210006-1

本体 ¥2,750〔税込〕





電線絵画～小林清親から山口晃まで～

加藤 陽介 著

求龍堂

明治初期から現代まで、多くの画家による電線、電信柱、架線が描かれた作品だけを集めたユニークな作品集。巻末に電線年表や作品解説、作家略歴等を掲載。練馬区立美術館にて 2021 年 2?4 月開催展覧会の公式図録。

2021.3./ 181p

978-4-7630-2114-4

本体 ¥2,500〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03、毎日新聞 2021/04/03



約束の地<上>(大統領回顧録 1)

バラク・オバマ／山田 文／三宅 康雄／長尾 莉紗／高取 芳彦／藤田 美菜子／柴田 さとみ／山田 美明／関根 光宏／芝 瑞紀／島崎 由里子 著

集英社

2009 年、47 歳でアメリカ合衆国大統領となったバラク・オバマの回顧録。人種、民族、政治的分断に橋を架けようと困難に立ち向かった日々を綴る。上は、生い立ちからオバマ政権の前半までを描く。

2021.2./ 519p 図版

16p

978-4-08-786133-4

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03、毎日新聞 2021/04/03、東京・中日新聞 2021/04/04、読売新聞 2021/04/04、日本経済新聞 2021/04/10



約束の地<下>(大統領回顧録 1)

バラク・オバマ／山田 文／三宅 康雄／長尾 莉紗／高取 芳彦／藤田 美菜子／柴田 さとみ／山田 美明／関根 光宏／芝 瑞紀／島崎 由里子 著

集英社

2009 年、47 歳でアメリカ合衆国大統領となったバラク・オバマの回顧録。人種、民族、政治的分断に橋を架けようと困難に立ち向かった日々を綴る。下は、金融危機、中東問題など、理想を打ち砕く難局の連続の日々を描く。

2021.2./ 538p 図版

16p

978-4-08-786134-1

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/04/03、毎日新聞 2021/04/03、東京・中日新聞 2021/04/04、読売新聞 2021/04/04、日本経済新聞 2021/04/10



英語独習法(岩波新書 新赤版 1860)

今井 むつみ 著

岩波書店

英語の達人をめざすなら高い語彙力が不可欠。オンラインツールを利用した合理的な実践的勉強法を紹介する。2018 年度の NHK ラジオ講座「入門ビジネス英語」のテキストに掲載したエッセイを再編成し、大幅に加筆したもの。

2020.12./ 8p,271p

978-4-00-431860-6

本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/04/10



ネメシス<1>(講談社タイガ イ D-01)

今村 昌弘 著

講談社

探偵事務所ネメシスに、大富豪の邸宅に届いた脅迫状の調査依頼が舞い込む。現地を訪れた探偵の風真たちが目にしたのは、謎の暗号と密室殺人、そして…。同名の連続テレビドラマの脚本協力として、著者が書き下ろした小説。

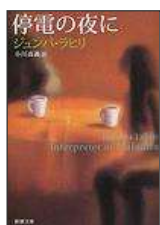
2021.3./ 247p

978-4-06-522825-8

本体 ¥759〔税込〕



朝日新聞 2021/04/10



停電の夜に(新潮文庫)

ジュンパ・ラヒリ 著

新潮社

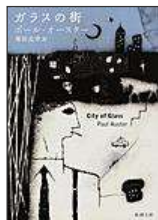
朝日新聞 2021/04/10

2003.2./ 327p

978-4-10-214211-0

本体 ¥693〔税込〕





ガラスの街(新潮文庫 オ-9-0)

ポール・オースター 著

新潮社

深夜の間違い電話をきっかけに、私立探偵となったクイン。彼は都市の迷路へと入り込んでいく…。透明感あふれる文章と意表を突くストーリーで、著者が一躍脚光を浴びることになった小説処女作を新訳。

朝日新聞 2021/04/10

2013/9./ 251p

978-4-10-245115-1

本体 ¥605〔税込〕



Numbers Don't Lie～世界のリアルは「数字」でつかめ!～

バーツラフ・シュミル 著

NHK出版

「人々」「国々」「食」「環境」「エネルギー」「移動」「機械」の7分野から71のトピックを厳選。信頼できる数字とデータで、驚くべき事実を明らかにする。“世界の今”を知るための教養書。

朝日新聞 2021/04/10

2021/3./ 356p

978-4-14-081853-4

本体 ¥2,200〔税込〕



オクトーバー・リスト(文春文庫 テ 11-43)

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

娘を誘拐され、秘密リストの引き渡しを要求されたガブリエラ。隠れ家で仲間を待つ彼女がドアを開けたとき、そこには誘拐犯が…。最終章から始まり、章ごとに時間が逆行、真相が明かされるのはラスト2章。超絶技巧サスペンス。

朝日新聞 2021/04/10

2021/3./ 420p

978-4-16-791668-8

本体 ¥1,045〔税込〕



紙鑑定士の事件ファイル～模型の家の殺人～(宝島社文庫 このミス大賞 C う-12-1)

歌田 年 著

宝島社

どんな紙でも見分けられる男・渡部が営む紙鑑定事務所に、「神探偵」と勘違いした女性が浮気調査の依頼にやって来る。一枚のプラモデルの写真を手がかりに意外な真相にたどり着いた渡部。次に妹を捜す女性が訪ねてきて…。

朝日新聞 2021/04/10

2021/2./ 366p

978-4-299-01376-7

本体 ¥759〔税込〕



学校、行かなきゃいけないの?～これからの不登校ガイド～(14歳の世渡り術)

雨宮 処凛 著

河出書房新社

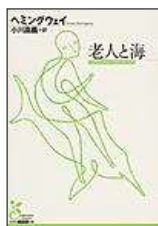
学校に行かなくても、選択肢は意外にたくさんある。フリースクール、学習支援、心の専門家…。学校から遠ざかった人々、学校のあり方に疑問を持って独自の取り組みを始めた人々にインタビューし、多くの選択肢と実践を紹介。

朝日新聞 2021/04/10

2021/1./ 211p

978-4-309-61728-2

本体 ¥1,540〔税込〕



老人と海(光文社古典新訳文庫 KA へ 1-3)

ヘミングウェイ 著

光文社

数カ月続く不漁のために周囲から同情の視線を向けられながら、独りで舟を出し、獲物がかかるのを待つ老サンチャゴ。やがて巨大なカジキが仕掛けに食らいつき、3日にわたる壮絶な闘いが始まる…。

朝日新聞 2021/04/10

2014/9./ 165p

978-4-334-75299-6

本体 ¥660〔税込〕





無職、ときどきハイボール

酒村 ゆっけ、著

ダイヤモンド社

食えること、映画や本、そして美味しいお酒におぼれる毎日。酒との生活を文章に綴り、YouTube にて酒テロ動画を発信する“ぼっち、無職、独身”の著者による初エッセイ。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 205p

978-4-478-11109-3

本体 ¥1,430〔税込〕



* 9 7 8 4 4 7 8 1 1 1 0 9 3 *



女ふたり、暮らしています。

キム・ハナ／ファン・ソヌ 著

CCCメディアハウス

単なるルームメイトでも、恋人同士でもない。一人暮らしに孤独や不安を感じはじめたふたりは、尊敬できて気の合う相手を人生の「パートナー」に選んだ。女ふたりと猫 4匹の愉快的な生活を綴る。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 334p

978-4-484-21103-9

本体 ¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 4 2 1 1 0 3 9 *



イドコロをつくる～乱世で正気を失わないための暮らし方～

伊藤 洋志 著

東京書籍

乱世で正気を失わないための暮らし方とは。縁側を自作する、近所の公園を使いこなす、お気に入りの散歩道を見つける…。現代において正気を失わないために確保したい「イドコロ」を思考の免疫系という考え方で提案する。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 225p

978-4-487-81115-1

本体 ¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 7 8 1 1 1 5 1 *



アニメと戦争

藤津亮太 著

日本評論社

「桃太郎 海の神兵」から「この世界の片隅に」まで、アニメの隣にはいつも戦争の姿があった。アニメはいかに戦争を描いてきたのか、その変化を戦中から現在にかけて追い、両者の関係を改めて問い直す。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 261p

978-4-535-58753-3

本体 ¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 5 3 5 5 8 7 5 3 3 *



日本赤十字社と皇室～博愛か報国か～(歴史文化ライブラリー 505)

小菅 信子 著

吉川弘文館

日本における赤十字による救護活動は皇室の全面的な保護のもと普及した。日露戦争から第二次世界大戦にいたる過程で、国際主義と国家主義のはざま、国民統合装置として近代日本を支えた側面を描く。

朝日新聞 2021/04/10

2021.2./ 6p,179p

978-4-642-05905-3

本体 ¥1,870〔税込〕



* 9 7 8 4 6 4 2 0 5 9 0 5 3 *



美しい世界のチーズの教科書

トリスタン・シカル 著

パイインターナショナル

カマンベールが白いのはなぜ？ チーズ特有の匂いはどこからくるの？ 世界 26 カ国の代表的なチーズ約 400 種類の生産地や原料、味わいの特徴をイラストで紹介。チーズの歴史と製法も解説する。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 271p

978-4-7562-5172-5

本体 ¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 7 5 6 2 5 1 7 2 5 *



熊楠と幽霊(インターナショナル新書 065)

志村 真幸 著

集英社インターナショナル

幽体離脱を体験した知の巨人・南方熊楠は、心霊現象をどう考えたか？ 彼の論考や雑誌記事、日記などの資料から、熊楠ほどの知性が幽霊や妖怪をどう捉えていたのかを探る。

朝日新聞 2021/04/10

2021.2./ 236p

978-4-7976-8065-2

本体 ¥946〔税込〕



戦前尖端語辞典

平山 亜佐子／山田 参助 著

左右社

イージー・マーク、コンパル、ゲシュペンシュテル、客本主義、ありのすさび組…。大正 8 年から昭和 15 年までに発行された流行語辞典から 285 語を採録し、当時の辞典の語釈、著者による解説、用例を掲載する。

朝日新聞 2021/04/10

2021.1./ 207p

978-4-86528-011-1

本体 ¥1,980〔税込〕



緑の牢獄～沖縄西表炭坑に眠る台湾の記憶～

黄インイク 著

五月書房新社

台湾の異才・黄インイク監督のドキュメンタリー映画「緑の牢獄」。制作を進めていく上での心境、歴史調査の過程での文献や事実の発見、監督自身のドキュメンタリー制作の理念など、映画では描き切れなかった記録の集大成。

朝日新聞 2021/04/10

2021.3./ 334p

978-4-909542-32-8

本体 ¥1,980〔税込〕



もう死んでいる十二人の女たちと(エクス・リブリス)

パク・ソルメ 著

白水社

光州事件、福島第一原発事故、女性殺人事件などの社会問題に、韓国の新鋭作家が独創的な想像力で対峙し、実感のある言葉で紡いだ短篇集。「海満」「私たちは毎日午後」「愛する犬」など、全 8 篇を収録。

朝日新聞 2021/04/10、東京・中日新聞 2021/04/11

2021.3./ 221p

978-4-560-09066-4

本体 ¥2,200〔税込〕



総合検証東日本大震災からの復興

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 著

岩波書店

東日本大震災の甚大な被害からの復興は、まちと住宅、生活や産業の再建だけでなく人々の意識や災害へのビジョンを変化させた。10 年を経た復興の現状と、発展し続けてきた危機管理と災害対応、復興政策のあり方を総括する。

朝日新聞 2021/04/17

2021.2./ 10p,365p

978-4-00-023744-4

本体 ¥4,400〔税込〕



未来をつくるあなたへ(岩波ジュニアスタートブックス)

中満 泉 著

岩波書店

核兵器、難民、環境、格差…。国際連合の事務次長として軍縮問題を担当する著者が、今、世界で起きている様々な課題と向き合い、勇気を持って一步を踏み出すことの大切さを伝える。『毎日小学生新聞』連載に加筆修正。

朝日新聞 2021/04/17

2021.3./ 5p,120p

978-4-00-027231-5

本体 ¥1,595〔税込〕





法哲学者 H.L.A.ハートの生涯～悪夢、そして高貴な夢～<上>

ニコラ・レイシー 著

岩波書店

ユダヤ移民の子として生まれたハーバートは、弁護士、言語哲学者など多彩な遍歴の後、イギリスの法哲学を復興し…。20 世紀を代表する法哲学者 H.L.A.ハートの実像を、豊富な資料に基づいて浮き彫りにした評伝。

2021:2./

29p,276p,15p

978-4-00-061454-2

本体 ¥4,620〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



法哲学者 H.L.A.ハートの生涯～悪夢、そして高貴な夢～<下>

ニコラ・レイシー 著

岩波書店

ケルゼンとの公開討論、「法の概念」の完成、ドゥオーキンとの確執、妻のスパイ疑惑報道…。20 世紀を代表する法哲学者 H.L.A.ハートの実像を、豊富な資料に基づいて浮き彫りにした評伝。

2021:2./ 7p,314p,38p

978-4-00-061455-9

本体 ¥4,620〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



戦後政治史 第4版(岩波新書 新赤版 1871)

石川 真澄、山口 二郎 著

岩波書店

私たちはいま、どこにいるのか？ 簡潔な叙述で定評のある通史に、東日本大震災からコロナ危機までの10年分を増補した第4版。衆参両院の全選挙結果も収録する。

2021:3./

15p,347p,15p

978-4-00-431871-2

本体 ¥1,144〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



京大式へんな生き物の授業(朝日新書 808)

神川龍馬 著

朝日新聞出版

光合成をやめて寄生虫になったもの、細胞から武器を発射するもの…。ミクロの世界は、無計画でムダなことばかりするへんなやつらのオンパレード。新進気鋭の生物学者が、単細胞の生き物の織り成す、へんな生き方を紹介する。

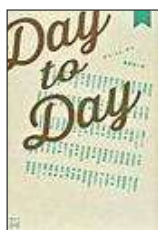
2021:3./ 215p

978-4-02-295111-3

本体 ¥869〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



Day to Day(tree)

講談社 編

講談社

コロナ禍に集った小説家100人が綴る、2020年4月1日以降の日本。掌編・エッセイを日付順に収録する。愛蔵版「Day to Day」と漫画集「MANGA Day to Day」と同時刊行。

2021:3./ 411p

978-4-06-521842-6

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



本のエンドロール(講談社文庫 あ121-7)

安藤 祐介 著

講談社

印刷会社の営業・浦本学は就職説明会で言った。「印刷会社はメーカーです」営業、工場作業員、DTPオペレーター、デザイナー…。奥付には載らない本造りの裏方たちを描いたお仕事小説。特別掌編「本は必需品」も収録。

2021:4./ 515p

978-4-06-523068-8

本体 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



かなしきデブ猫ちゃん(集英社文庫 は 38-3)

早見 和真 著

集英社

愛媛・道後に住む家族の飼い猫「マル」。人間を観察しながら優雅に過ごしているが、メス猫「スリジエ」が家族に加わり生活は一変。ふてくされて家出をし、県内各地を大冒険! デブ猫ちゃん冒険マップ付き。

2021.3./ 153p

978-4-08-744219-9

本体 ¥770〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



フルナイト 1(ビッグコミックス)

安田 佳澄 著

小学館

期待の新人が突きつける選択! ぶ厚い雲に覆われ陽が差さなくなった遙か未来の地球。植物が枯れ酸素も薄くなった世界。しかし人類は、人を植物に変える技術を開発し、わずかな酸素を作り出して生き延びていた。先の見えない世界でも人として生きるか、苦しみを捨て植物として新たな生へ踏み出すか。人々は選択を迫られるー

2021.4./ 224p

978-4-09-860866-9

本体 ¥650〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



ふたりぐらし(新潮文庫 さ-82-4)

桜木 紫乃 著

新潮社

元映写技師の夫、信好。母親との確執を解消できないままの妻、紗弓。一緒にくらすと決めたあの日から、少しずつ幸せに近づいていく。そう信じながら、ふたりは夫婦になり…。夫婦が夫婦になっていく“家族のはじまり”を描く。

2021.3./ 277p

978-4-10-125484-5

本体 ¥649〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



発達障害はなぜ誤診されるのか(新潮選書)

岩波 明 著

新潮社

「発達障害」の誤診率が高いのは、他の精神疾患との併存、症状の類似と複雑さ、医師の知識不足と臨床経験の少なさ。第一人者が「隠れ発達障害」の実態を報告する。

2021.2./ 220p

978-4-10-603863-1

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



毒親の日本史(新潮新書 900)

大塚 ひかり 著

新潮社

一筋縄ではいかない親子関係。父親に見殺しにされたヤマトタケル、子を母に殺された建礼門院徳子、実家にいびられ続けた小林一茶…。系図上では儚く頼りない親子の縦一本線に込められた愛憎が、日本史に与えた影響を読む。

2021.3./ 286p

978-4-10-610900-3

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



未完の多文化主義～アメリカにおける人種、国家、多様性～

南川 文里 著
東京大学出版会

アメリカ社会にとって「多文化主義」とは何であったのか。公民権運動以来の多様性の政治を歴史社会学的に追い、バックラッシュのなかで失敗が宣告される「アメリカ型多文化主義」にアメリカを動かすダイナミズムを読む。

朝日新聞 2021/04/17

2021.2./ 5p,345p
978-4-13-056122-8
本体 ¥6,160〔税込〕
* 9 7 8 4 1 3 0 5 6 1 2 2 8 *



「よそもの」が日本を変える～地域のものづくりにチャンスあり～

鎌田由美子 著
日経BP社

「常識」や「前例主義」の厚い岩盤を突破できるのは、「非常識」な「よそもの」なのだ！イノベーションを起こした具体例や視点を紹介し、個人や企業の「これからの生き方」を提示する。

朝日新聞 2021/04/17

2021.3./ 223p
978-4-296-10901-2
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 2 9 6 1 0 9 0 1 2 *



レストラン「ドイツ亭」

アネッテ・ヘス 著
河出書房新社

フランクフルトでレストラン「ドイツ亭」を営む両親や家族とともに暮らす 24 歳のエーファは、ある偶然から、アウシュヴィッツ裁判でホロコーストの被害者の証言を通訳するよう依頼される。それは彼女の運命を大きく変え…。

朝日新聞 2021/04/17

2021.1./ 378p
978-4-309-20816-9
本体 ¥3,190〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 8 1 6 9 *



白い土地～ルポ福島「帰還困難区域」とその周辺～

三浦 英之 著
集英社クリエイティブ

遺言を託した福島県浪江町の町長、娘を探す父親…。原発被災地の最前線でいきる福島の人々と、住民が帰れない“白い土地”に通ったルポライターの物語。集英社ウェブ『イミダス』、『朝日新聞』連載を加筆修正して単行本化。

朝日新聞 2021/04/17

2020.10./ 256p
978-4-420-31090-1
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 4 2 0 3 1 0 9 0 1 *



ふつうに生きるって何?～小学生の僕が考えたみんなの幸せ～

井手 英策 著
毎日新聞出版

答えなんてないことと向き合い、なやみ、苦しむ。あきらめずに、希望を見つけようとふんばる。小学生 5 年生の愉太郎がふつうのできごとに「意味」を見つけていく物語。『毎日小学生新聞』連載に加筆修正。

朝日新聞 2021/04/17

2021.2./ 254p
978-4-620-32671-9
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 0 3 2 6 7 1 9 *



被災地のジャーナリズム～東日本大震災 10 年「寄り添う」の意味を求めて～

寺島 英弥 著
明石書店

「寄り添う」の本当の意味は何なのか。東日本大震災で根こそぎ失われた被災地の風景のなかを、ジャーナリズムが果たす役割の意味を問いながら取材者として歩き続けてきた著者の、忘却に抗い、声をつなぎ続けた 10 年の記録。

朝日新聞 2021/04/17

2021.2./ 285p
978-4-7503-5156-8
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 0 3 5 1 5 6 8 *



野球の科学～解剖学、力学、統計学でプレーを分析!～(SB ビジュアル新書 0022)

川村 卓 著

SBクリエイティブ

遅いのにな打てない球の秘密とは? 送りバントは本当に有効な戦術か? バットの理想的な進入角度がある? 最も得点しやすいのは「無死満塁」ではない? 野球にまつわる疑問に「科学的な見地」で答える。

2021.3./ 191p

978-4-7973-9269-2

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



あなたのあしもとコケの森(森の小さな生きもの紀行 3)

鶴沢 美穂子 著

文一総合出版

4億年も前から地球に暮らし、道ばたのコンクリートの上で踏みつけられても負けずに、力強く生きるコケ。見分け方や楽しみ方もあわせて、コケの世界をたっぷり紹介する。見返しに「コケの体のつくりと名前」等あり。

2021.3./ 48p,6p

978-4-8299-9002-5

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



原発避難者「心の軌跡」～実態調査 10年の<全>記録～

今井 照／朝日新聞福島総局 著

公人の友社

福島第一原子力発電所の事故の翌月、県内にとどまらず、県外にも避難する人が増え続けた。避難者がどういう環境に置かれ、何を考えていて、いま何が必要なのか。10年続いた「原発避難者の実態調査」の全記録。

2021.3./ 286p,62p

978-4-87555-858-3

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



失われた賃金を求めて

イ・ミンギョン 著

タバプックス

賃金差別は存在する! 男女賃金格差が OECD 加盟国中「不動のワースト 1 位」の韓国で、賃金労働する女性に本来支払われるべきだったのに払われず、どこかへ消えたお金の金額を求める試み。

2021.2./ 211p

978-4-907053-47-5

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17



福島第一原発事故の「真実」

NHKメルトダウン取材班 著

講談社

東日本壊滅はなぜ免れたのか? 取材期間 10 年、1500 人以上の関係者取材を通して、福島第一原発事故の真相を明らかにする。写真資料も満載。NHK スペシャル「メルトダウン」シリーズの取材成果を元にした本。

2021.2./ 734p

978-4-06-522529-5

本体 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2021/04/17、毎日新聞 2021/04/24



はじめまして現代川柳

小池正博 著

書肆侃侃房

いまいちばんおもしろい言葉がつまった、現代川柳のアンソロジー。川上日車、石部明から八上桐子、柳本々々まで 35 人の作品を収録する。詳細な作者紹介、現代川柳小史も掲載。

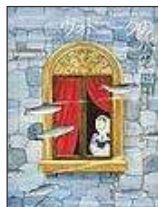
2020.10./ 309p

978-4-86385-420-8

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/04/18



ヴォドニークの水の館～チェコのむかしばなし～

まき あつこ 著

BL出版

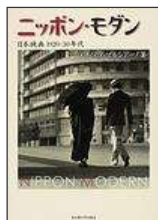
生きる希望を失った娘は、水の主ヴォドニークに仕えることに。つぼの中は、決してのぞいてはいけないと言いつけられていたが、ある日…。チェコに伝わる、切なくも不思議な物語。

朝日新聞 2021/04/24

2021.3./ 32p

978-4-7764-0929-8

本体 ¥1,760〔税込〕



ニッポン・モダン～日本映画1920・30年代～

ミツヨ・ワダ・マルシアアーノ 著

名古屋大学出版会

日本映画の第一次黄金時代ともいえる1920年代から30年代における5つの重要な要素を分析。それを通して、映画がどのように日本の近代という想像力、あるいは経験を視覚的に表現したかを語る。

朝日新聞 2021/04/24

2008.12./ 227,43p

978-4-8158-0604-0

本体 ¥5,060〔税込〕



デジタル時代の日本映画～新しい映画のために～

ミツヨ・ワダ・マルシアアーノ 著

名古屋大学出版会

デジタル技術は映画の製作・流通・受容を劇的に変え、日本映画をグローバル市場に押し出した。Jホラーやアニメーションからドキュメンタリー・民族映画まで、作品に即してメディア収束下の新たな映画文化を捉えるとともに、「トランスナショナル」の実像を見つめる画期的な現代映画論。

朝日新聞 2021/04/24

2010.12./ 294p

978-4-8158-0657-6

本体 ¥5,060〔税込〕



王の没落(岩波文庫 32-746-1)

イェンセン 著

岩波書店

デンマークの作家イェンセンによる傑作歴史小説。凶暴な王クリスチャン 2 世と破滅的な傭兵ミッケル。2 人の運命を中心に 16 世紀北欧の激動を、視覚、聴覚、幻覚のイメージを巧みに駆使した生々しい筆致で描く。

朝日新聞 2021/04/24

2021.4./ 411p

978-4-00-327461-3

本体 ¥1,122〔税込〕



教育は何を評価してきたのか(岩波新書 新赤版 1829)

本田 由紀 著

岩波書店

日本社会が息苦しい原因は、教育をめぐる磁場にあった。能力・資質・態度という言葉に注目し、戦前から現在までの日本の教育言説を分析することで、格差と不安に満ちた社会構造から脱却する道筋を示す。

朝日新聞 2021/04/24

2020.3./ 8p,253p

978-4-00-431829-3

本体 ¥924〔税込〕



ミカンの味

チョ・ナムジュ 著

朝日新聞出版

中学校の映画部で仲良くなった少女 4 人は、中学 3 年生になる直前、旅先の済州島で衝動的にある約束を交わし、タイムカプセルに入れて埋める。さまざまな感情と計算が隠されたこの約束をめぐり、次々と事件が起こるが…。

朝日新聞 2021/04/24

2021.4./ 247p

978-4-02-251757-9

本体 ¥1,760〔税込〕





風神雷神<上>(講談社文庫 や 60-6)

柳 広司 著

講談社

扇屋「俵屋」の養子となった伊年が絵付けをした扇は評判を増す。すると平家納経の修理を依頼される栄誉に。さらに本阿弥光悦が版下文字を書く嵯峨本、鶴下絵三十六歌仙和歌巻の下絵での共同作業を経て、伊年の筆は冴え...

2021.3./ 277p

978-4-06-522186-0

本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



風神雷神<下>(講談社文庫 や 60-7)

柳 広司 著

講談社

俵屋を継いだ宗達は、名門公卿の烏丸光広に依頼され、養源院に唐獅子図・白象図を、相国寺に蔦の細道図?風を完成させる。関屋濤標図?風、舞楽図?風、そして風神雷神図?風...。謎の絵師が残した傑作の舞台裏を描く。

2021.3./ 308p

978-4-06-522187-7

本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



肉体のジェンダーを笑うな

山崎 ナオコーラ 著

集英社

父の胸から「母乳」ならぬ「父乳」が出たら? ロボット技術で男女の体力差が消滅したら? 驚くべき想像力で、性差が減った未来をユーモラスに描く 4 編の小説集。『すばる』他掲載を単行本化。

2020.11./ 255p

978-4-08-771732-7

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



検閲官～発見された GHQ 名簿～(新潮新書 894)

山本 武利 著

新潮社

敗戦後の日本では、あらゆる言論が GHQ によって検閲された。その職を担ったのは、英語を解する日本人エリート達だ。著者が発掘した GHQ 名簿や経験者の証言など第一級史料を基に、今日にも通じる問題を炙り出す戦後裏面史。

2021.2./ 253p

978-4-10-610894-5

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



52 ヘルツのクジラたち

町田 そのこ 著

中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

2020.4./ 260p

978-4-12-005298-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



大学図鑑!<2022> 有名大学 83 校のすべてがわかる!

ダイヤモンド社

学生たちのリアルな“声”が満載の、自分に合った大学選びのバイブル。校風は? 環境は? 就職状況は? 学部学科は? 全国有名大学 83 校をきれいごと一切なしで紹介する。「コロナで大学生活はどう変わる?」等も収録。

2021.3./ 526p

978-4-478-11289-2

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/04/24



乱歩とモダン東京～通俗長編の戦略と方法～(筑摩選書 0209)

藤井 淑禎 著
筑摩書房

1930 年代の華やかなモダン東京を描き、作品展開に生かした江戸川乱歩。読者の心をつかんだ戦略とは? これまで研究されてこなかった通俗長編の中に、大衆の心をつかむ仕掛けとしての大東京の描写を読みとく。

朝日新聞 2021/04/24

2021.3./ 238p
978-4-480-01727-7
本体 ¥1,650〔税込〕



開化鉄道探偵(創元推理文庫 M や 7-1)

山本巧次 著
東京創元社

明治 12 年。逢坂山トンネルの鉄道工事現場で不審な事件が続発。鉄道局長の命を受け、技手見習・小野寺乙松と元八丁堀同心・草壁賢吾のコンビが調査を開始。だが、現場に到着早々、乗客が転落死を遂げたと報告を受け...

朝日新聞 2021/04/24

2021.2./ 325p
978-4-488-43921-7
本体 ¥814〔税込〕



科学者をまどわす魔法の数字,インパクト・ファクターの正体～誤用の悪影響と賢い使い方～

麻生一枝 著
日本評論社

なぜ個々の研究者の業績を評価する指標としてのインパクト・ファクターを使ってはいけないのか。さまざまなデータを使ってその問題点や誤用による悪影響を論じ、インパクト・ファクター偏重主義根絶の取り組みにも言及する。

朝日新聞 2021/04/24

2021.1./ 8p,162p
978-4-535-78929-6
本体 ¥2,860〔税込〕



月経と犯罪～“生理”はどう語られてきたか～

田中 ひかる 著
平凡社

月経は本当に犯罪の引き金となるのだろうか? 女優松井須磨子の自殺など大正時代の事例から、ロンブローゾ以来の「女性犯罪論」、最新の「医学的根拠」までを徹底検証し、「犯罪における月経要因説」の信憑性に迫る。

朝日新聞 2021/04/24

2020.12./ 189p
978-4-582-82491-9
本体 ¥2,640〔税込〕



Q&A でわかる外国につながる子どもの就学支援～「できること」から始める実践ガイド～

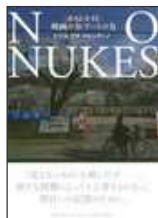
小島 祥美 著
明石書店

国籍を問わず、文化的言語的に多様な背景をもつ子どもの就学を支援する際のポイントをまとめたガイド。日本の学校での受け入れについて Q&A 形式で解説するほか、進路を拓いた事例、すぐに使えるおススメ情報を紹介する。

朝日新聞 2021/04/24

2021.3./ 270p
978-4-7503-5153-7
本体 ¥2,420〔税込〕





NO NUKES～<ポスト3・11>映画のカ・アートのカ～

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ 著

名古屋大学出版会

大震災/原発事故後、なすべきことを問いかけ、時代のメディア環境の中で自生した映画やアート。映画研究者である著者が、「小さき声」の響く作品と向き合い、それらを制作した作家たちの揺れ動く言葉を聴く。

朝日新聞 2021/04/24

2021:2./ 5p,229p,7p

978-4-8158-1014-6

本体 ¥4,950〔税込〕



バンビ～森に生きる～(福音館古典童話シリーズ 43)

フェーリクス・ザルテン 著

福音館書店

森に生まれたバンビは、さまざまな動物たちとふれあいながら、喜びや悲しみ、恐怖や孤独の体験を通して、やがておとなのノロジカへと成長していく。森に暮らす生きものたちの姿を詩的に描いた動物文学の名作。

朝日新聞 2021/04/24

2021:3./ 283p

978-4-8340-8598-3

本体 ¥1,980〔税込〕



さいごのゆうれい

斉藤倫 著

福音館書店

<大幸福時代>の夏休み、田舎のおばあちゃんちに預けられた小5のぼくは、お盆の最初の日、小さなゆうれいに会った。その子は、自分がゆうれいのさいごのひとりかもしれないと言い…。ゆうれいと過ごした4日間を描く。

朝日新聞 2021/04/24

2021:4./ 302p

978-4-8340-8606-5

本体 ¥1,870〔税込〕



女の子だから、男の子だからをなくす本

ユン・ウンジュ 著

エトセトラブックス

女の子らしさって？ 男の子らしさって？ 女の子も男の子も、ステキな人になるために。性別の枠組みから自由になり、これから必要なジェンダーの知識を紹介した絵本。

朝日新聞 2021/04/24

2021:3./ 53p

978-4-909910-11-0

本体 ¥2,200〔税込〕



戦争が巨木を伐った～昭和の戦争と供木運動・木造船～(平凡社選書 236)

瀬田 勝哉 著

平凡社

戦局悪化のなか、木造船の緊急増産を決定した政府は、その材を平地の巨木にも求め、屋敷、寺社、並木の木々の供出運動を展開した。日本における樹木と人の関係史上まれに見る危機的局面を、中世史家がはじめて明るみに出す。

朝日新聞 2021/04/24、読売新聞 2021/04/25

2021:1./ 526p

978-4-582-84236-4

本体 ¥4,180〔税込〕



フォルモサ～台湾と日本の地理歴史～(平凡社ライブラリー 913)

ジョージ・サルマナザール 著

平凡社

18世紀初頭、フォルモサ(台湾)人を自称する詐欺師による、架空の台湾・日本紹介。ヨーロッパで大ベストセラーとなり、その後の東アジア認識や、「ガリヴァー旅行記」にも影響を与えた世紀の奇書。本邦初訳。

東京・中日新聞 2021/04/04、産経新聞 2021/04/18

2021:2./ 419p

978-4-582-76913-5

本体 ¥1,980〔税込〕





平成都市計画史～転換期の 30 年間が残したもの・受け継ぐもの～

饗庭 伸 著

花伝社

「少しでも良い都市」を目指し展開してきた日本の都市計画。平成期、私たちはどのように都市をつくってきたのか。規制緩和、コミュニティ、復興などのキーワードを手掛かりに、30 年間の軌跡を辿り、現在と未来の行方を探る。

2021.2./ 360p

978-4-7634-0955-3

本体 ¥2,750〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/04、日本経済新聞 2021/04/10



激震

西村 健 著

講談社

1995 年。年明け早々に阪神地方を襲った大地震に衝撃を受け、被災地に駆けつけた月刊誌の記者・古毛は、長田地区で焼け跡に佇む若い女と遭遇する。戦場の少年兵そっくりの眼をした彼女ははたして何者なのか？

2021.2./ 412p

978-4-06-518349-6

本体 ¥2,090〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/11



川漁～越後魚野川の伝統漁と釣り～

戸門 秀雄 著

農山漁村文化協会

新潟・群馬県境の山々に源を発し、長岡の殿様が初鮭 1 匹に米 7 俵の褒美を与えた古い歴史がある名川・越後魚野川。豊饒な川を舞台に発展してきた、さまざまな魚の漁法・漁具・食べ方・伝承などを古老から聞いた記録を集大成。

2021.1./ 370p 図版 16p

978-4-540-19123-7

本体 ¥4,070〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/11



プロ野球問題だらけの 12 球団<2021 年版>

小関 順二 著

草思社

充実したファームがあれば即戦力はいらぬソフトバンク、高卒投手軽視のドラフトが日本ハムの低迷の原因…。プロ・アマ合わせて年間 300 試合を観戦・取材するドラフト通が、12 球団の 2021 年シーズンの戦いを分析する。

2021.3./ 222p

978-4-7942-2508-5

本体 ¥1,760〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/11



永遠の仮眠

松尾 潔 著

新潮社

音楽プロデューサーの悟は、テレビドラマの主題歌制作に苦戦していた。プロデューサーの多田羅は業界の常識を覆す提案をし…。現役音楽プロデューサーが、ショールビジネスの内実、ドラマ主題歌制作に潜む闇を綴った長篇小説。

2021.2./ 276p

978-4-10-353841-7

本体 ¥1,870〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/17



時代を撃つノンフィクション 100(岩波新書 新赤版 1873)

佐高 信 著

岩波書店

ノンフィクションは社会を見つめる眼を養い、いま私たちはどのような時代にいるのか、状況への問いかけを発する精神を鍛えてくれる。古典的名著から 2010 年代の作品まで、時代を撃ち続ける 100 冊を厳選したブックガイド。

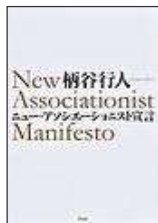
2021.3./ 11p, 209p, 5p

978-4-00-431873-6

本体 ¥902〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/18



ニュー・アソシエーションист宣言

柄谷 行人 著

作品社

「資本=ネーション=国家」への対抗運動は、3・11を経て、コロナ禍に直面し、より現実的なものとなってきた。自由かつ平等な社会を実現するためのアソシエーションист運動を検証し、その可能性をあらためて示す。

2021.1./ 293p

978-4-86182-835-5

本体 ¥2,640〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/18、毎日新聞 2021/04/24



山の出べそ(ヤマケイ文庫)

畦地 梅太郎 著

山と溪谷社

美ガ原の山小屋、スキー宿の夢、蘭さがし、早春の駒ガ岳、雪の八ガ岳、冬の石鎚...とぼとぼと山道を歩くように愛媛訛りの語り口で綴る、版画家・畦地梅太郎の画文集。カラーの版画作品も掲載。

2021.2./ 349p 図版

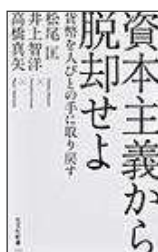
16p

978-4-635-04897-2

本体 ¥1,210〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/24



資本主義から脱却せよ～貨幣を人びとの手に取り戻す～(光文社新書 1119)

松尾 匡、井上 智洋、高橋 真矢 著

光文社

<経済の仕組み>に問題がある。経済学の論客2人と不安定ワーカーが、資本主義から脱却し、貨幣を人びとの手に取り戻すための「新しいストーリー」を提示する。

2021.3./ 290p

978-4-334-04526-5

本体 ¥1,012〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/25



メディア支配～その歴史と構造～

松田 浩 著

新日本出版社

政権に同調的なマスメディアは、どのようにして作られたのか。戦後メディアの再編成、新聞とテレビの系列一本化、生かせなかった「独立行政委員会構想」、放送法の取締法化の阻止などを論じる。

2021.2./ 155p

978-4-406-06560-3

本体 ¥2,090〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/25



武蔵野マイウェイ

海野 弘 著

冬青社

由緒ある古寺に詣り、道端の石仏に語りかけ、雑木林に迷い込み、野鳥の囀りに耳を傾け、公園の木陰でアンパンを食べて一休み...。プランも立てず、その時々気分であつた武蔵野散歩について綴る。同人誌『断絶』連載を書籍化。

2021.2./ 247p

978-4-88773-197-4

本体 ¥1,760〔税込〕



東京・中日新聞 2021/04/25



素粒子(ちくま文庫)

ミシェル・ウエルベック、野崎 敏 著

筑摩書房

読売新聞 2021/04/04

2006.1./ 443p

978-4-480-42177-7

本体 ¥1,540〔税込〕





地方の論理(岩波新書 新赤版 1855)

小磯 修二 著

岩波書店

地方に身を置き、世界の境界の地の課題解決をも請け負ってきた著者が、自らの実践活動から得た気づきや、地方から生まれた新たな発想、ユニークな取り組みの数々を紹介。中央の発想にとらわれない、地方活性化のヒントが満載。

読売新聞 2021/04/04

2020:11./

10p,232p,2p

978-4-00-431855-2

本体 ¥924〔税込〕



ははのれんあい

窪 美澄 著

KADOKAWA

シングルマザーになった「はは」と、代わりに双子の弟たちの「はは」役を務める僕。歪な家族があってもいい、どんな形でも家族は家族だから。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものを加筆修正し単行本化。

読売新聞 2021/04/04

2021:1./ 332p

978-4-04-105491-8

本体 ¥1,870〔税込〕



ベーカー街の女たちと幽霊少年団(角川文庫 ミセス・ハドスンとメアリー・ワトソンの事件簿 ハ35-2 2)

ミシェル・パークビー 著

KADOKAWA

ミセス・ハドスンが入院した特別病棟の病室で起こる患者の不可解な死。見舞いに訪れたメアリーは、ロンドンの街で少年の失踪事件が続いていると言う。2つの事件はなぜ起きた? 2人は調査を進め…。本格ミステリ譚第2弾。

読売新聞 2021/04/04

2020:12./ 478p

978-4-04-108029-0

本体 ¥1,408〔税込〕



危機の日本史～近代日本 150 年を読み解く～

佐藤 優／富岡 幸一郎 著

講談社

佐藤優と富岡幸一郎が、近代日本 150 年について、それぞれの時代の結節点となる事件や出来事、代表的な文学・思想作品をクロスさせながら読み解き、危機の時代を生き抜くヒントを示す。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2021/04/04

2021:3./ 223p

978-4-06-522710-7

本体 ¥1,760〔税込〕



Story for you(tree)

講談社 編

講談社

ファンタジー、青春、歴史、BL、ミステリ、SF…。大切な人に贈りたいショート・ショート集。柏葉幸子「魔女のパフェ友」、森見登美彦「花火」など、心がおどる物語全 62 編を収録する。『tree』掲載を単行本化。

読売新聞 2021/04/04

2021:3./ 232p

978-4-06-522796-1

本体 ¥1,650〔税込〕



ロヒンギャ危機～「民族浄化」の真相～(中公新書 2629)

中西 嘉宏 著

中央公論新社

2017 年の国軍による掃討作戦以降、大量のロヒンギャ難民が発生し、100 万人が隣国のキャンプで暮らす。複雑な歴史的背景やミャンマーをめぐる国内・国際政治を通し、アジア最大の人道・人権問題の全貌を示す。

読売新聞 2021/04/04

2021:1./ 5p,252p

978-4-12-102629-3

本体 ¥968〔税込〕





狂った機関車～鮎川哲也の選んだベスト鉄道ミステリ～(中公文庫 あ 94-1)

日下三蔵 編
鮎川哲也 著
中央公論新社

戦前の本格推理から、時刻表トリック、心理ドラマまで、鉄道を舞台にしたミステリのアンソロジー。大阪圭吉による表題作をはじめ、永瀬三吾「轢死経験者」、二条節夫「殺意の証言」など、短・中篇全7作を収録する。

2021:2./ 359p
978-4-12-207027-1
本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



母親を失うということ

岡田 尊司 著
光文社

誰もが経験することになる母親の死。あなたはそれをどう受け止めますか。急逝した母親の記憶を辿りながら、自らとの関係を初めて明かし、喪失の果てしない悲しみとその先にある希望を綴る。

2021:2./ 348p
978-4-334-95228-0
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



国絵図読解事典

小野寺 淳／平井 松午 編
創元社

徳川幕府が江戸時代を通して、全国諸大名に何度も作成・提出を命じた、巨大な極秘地図・国絵図。多様な国絵図の編成・作成過程を関連文書を織り交ぜて解説し、表現上の特徴や同時代の古地図・絵図との関連性も論じる。

2021:2./ 318p
978-4-422-22009-3
本体 ¥9,680〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



B級グルメで世界一周(ちくま文庫 し 9-13)

東海林 さだお 著
筑摩書房

小籠包の謎に挑み、チーズフォンデュを見直し、英国式紅茶体験にテレ、ホットドッグを叱りつけ、シュラスコに恋をする。世界の名物料理を食って食って食いまくる! ショーじくんの食の祭典 48 篇。

2021:1./ 319p
978-4-480-43721-1
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



母という病(ポプラ新書 017)

岡田 尊司 著
ポプラ社

母親との関係は、他のすべての対人関係や恋愛、子育て、うつ、依存症などの精神的な問題の要因ともなる。母という病に向き合い、不幸の根を断ち切り、そこから回復するための手がかりを提供する。

2014:1./ 326p
978-4-591-13777-2
本体 ¥858〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



超えてみようよ!境界線～アフリカ・アジア、そして車イスで考えた援助すること・されること～

村山 哲也 著

かもがわ出版

ケニア、フィリピン、ルワンダ…。教育開発援助の仕事で、いくたびも国境を越えながら、よそ者と身内、性差、階級、敵味方、援助する側とされる側など、さまざまな「境界線」に直面した著者が、ドキドキの体験談を綴る。

2021.1./ 127p

978-4-7803-1136-5

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



「腸内細菌」が健康寿命を決める(インターナショナル新書 068)

辨野 義己 著

集英社インターナショナル

腸内細菌研究の最前線はウンチとの格闘だった!? 腸内細菌がいかに関与し、健康や美容と深く関わっているかを、約半世紀にわたる著者の研究秘話や最新知識とともに、分かりやすく紹介する。

2021.2./ 189p

978-4-7976-8068-3

本体 ¥880〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



オルフェウス変幻～ヨーロッパ文学にみる変容と変遷～

沓掛 良彦 著

京都大学学術出版会

オルフェウスが亡き妻を求めて冥界に降りていった話は有名だが、その原話はどのように誕生し、伝承のなかで変容・変遷していったのか。古代ギリシアから近代にいたる文学を渉猟し、伝説的な詩人の姿を跡づける。

2021.1./ 3p,553p

978-4-8140-0307-5

本体 ¥5,940〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



金子兜太～俳句を生きた表現者～

井口 時男 著

藤原書店

過酷な戦場体験を原点として、前衛俳句の追求から、「衆」の世界へ、そして晩年にはアニミズムに軸足を据えた金子兜太。戦後精神史に屹立する比類なき「存在者」の根源に迫る。『兜太 TOTA』連載を改題、加筆し単行本化。

2021.1./ 237p

978-4-86578-298-1

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



「ちがいがいる子とその親の物語」<1> ろう、低身長症、ダウン症の場合

アンドリュー・ソロモン／依田 卓巳／戸田 早紀 著

海と月社

「ちがいがいる子とその親が選んだ、さまざまな道のり。数多の賞に輝き、映画「ひとりどりの親子」の原作となったノンフィクション。1 は、ろう、低身長症、ダウン症のケースを取り上げる。

2020.12./ 354p

978-4-903212-71-5

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/04/04



江戸移住のすすめ

富岡 一成 著

旬報社

疫病だの、悪政だのと世の中は世知辛いし...そうだ、江戸へ行こう! 現代人が江戸で暮らしていけるよう、衣食住から仕事探し、江戸前啖呵の切り方まで、江戸生活のすべてをユーモアを交えて丁寧にガイドする。

2021.2./ 294p

978-4-8451-1672-0

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/04/04、産経新聞 2021/04/25



蝨・納屋を焼く・その他の短編 改版(新潮文庫)

村上 春樹 著

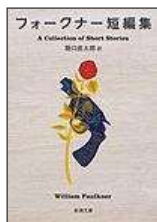
新潮社

読売新聞 2021/04/11

2010:4./ 202p

978-4-10-100133-3

本体 ¥506〔税込〕



フォークナー短編集 改版(新潮文庫)

フォークナー 著

新潮社

アメリカ南部の退廃した生活や暴力的犯罪の現実を斬新で独特な手法で描き、20世紀最大のアメリカ文学者に数えられるフォークナーの作品集。大人の悪の世界と子供の無邪気な世界を描いた「あの夕陽」など、全8編を収録。

1970:1./ 287p

978-4-10-210203-9

本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



戦争は女の顔をしていない(岩波現代文庫 社会 295)

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

岩波書店

ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこない戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞作家の主著。

2016:2./ 6p,498p

978-4-00-603295-1

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



アルツハイマー征服

下山 進 著

KADOKAWA

遺伝子の特定、トランスジェニック・マウスの開発、ワクチン療法から抗体薬-。名声に囚われた科学者の捏造事件、治験に失敗した巨大製薬会社の破綻など、幾多のドラマでアルツハイマー病治療法解明までの長い道を描く。

2021:1./ 330p

978-4-04-109161-6

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



麦と兵隊・土と兵隊 改版(角川文庫 ひ 34-1)

火野 葦平 著

KADOKAWA

麦畑を進軍し、九死に一生を得た徐州作戦の経験を日記形式で綴る「麦と兵隊」と、杭州湾敵前上陸作戦に臨み、死と隣り合わせの日々を生きる兵隊の心情を弟への手紙形式で綴る「土と兵隊」。火野葦平の名作2編を収録する。

2021:2./ 318p

978-4-04-111161-1

本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



さらに悩ましい国語辞典(角川ソフィア文庫 E112-2)

神永 暁 著

KADOKAWA

「了解」「了承」「承知」の違いは? 「東日本」と「西日本」の境はどこにある? ことばの歴史を見据えながら、どのような変遷を経ていまの使われ方になったのかを解明。時代と共に変化することばの不思議に迫る。

2020:12./ 445p

978-4-04-400521-4

本体 ¥1,232〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



旅する練習

乗代 雄介 著

講談社

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった 2020 年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て…。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2021/04/11

2021.1./ 170p

978-4-06-522163-1

本体 ¥1,705〔税込〕



弱い男(星海社新書 173)

野村 克也 著

星海社

野村克也が死の直前に吐露した男の弱さとは、老いとは。プロ野球テスト生として南海ホークスへ入団以来、選手として、監督として輝かしい頂点を極めた不世出の男・野村克也の 10 時間に及ぶ貴重なインタビューを完全収録。

読売新聞 2021/04/11

2021.1./ 173p

978-4-06-522224-9

本体 ¥1,100〔税込〕



冷血(新潮文庫)

トルーマン・カポーティ 著

新潮社

読売新聞 2021/04/11

2006.6./ 623p

978-4-10-209506-5

本体 ¥1,100〔税込〕



わたしが行ったさびしい町

松浦 寿輝 著

新潮社

最高の旅とはさびしい旅にほかなるまい。ペスカーラ、名瀬、台南、コネマラ、タクナ、中軽井沢…。過去に通り過ぎた町のあれこれから人生の記憶に思いを馳せる、活字で旅する極上の 20 篇。『新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2021/04/11

2021.2./ 264p

978-4-10-471704-0

本体 ¥1,980〔税込〕



世界の日本人ジョーク集<令和編>(中公新書ラクレ 720)

早坂 隆 著

中央公論新社

日本人は世界の目にどう映っている？ 菅総理が就任、トランプ大統領が退任、そして世界を覆うコロナの影…。日本人が登場するさまざまなジョークを土台に、平成から令和への日本社会の移り変わりを描く。

読売新聞 2021/04/11

2021.3./ 237p

978-4-12-150720-4

本体 ¥880〔税込〕



ほろよい味の旅(中公文庫 た 24-4)

田中 小実昌 著

中央公論新社

好きなものはお粥、酎ハイ、バスの旅。タマゴに馬鈴薯、市場あるき。家で、外で、旅先で。飲んで食べて、また飲んで…。『味な話』『酔虎伝』『ほろよい旅日記』の気ままに楽しい食・酒・旅エッセイ。角田光代の解説も収録。

読売新聞 2021/04/11

2021.2./ 265p

978-4-12-207030-1

本体 ¥946〔税込〕





あるある!お悩み相談室「名句の学び方」(NHK 俳句)

岸本 葉子／岸本 尚毅 著

NHK出版

季語、定型、文法、仮名遣い…。俳句作りの疑問や不安を、名句の推敲の事例をもとにズバリ解決。『NHK 俳句』連載等に「学びたい「名句集」七選」を加えて単行本化。オンライン句会「夏雲システム」の使い方も収録。

2021.1./ 157p

978-4-14-016279-8

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



デューン砂の惑星<上> 新訳版(ハヤカワ文庫 SF 2049)

フランク・ハーバート、酒井 昭伸 著

早川書房

アトレイデス公爵は皇帝の命を受け、惑星アラキスに移封されることになる。宿敵ハルコンネン家に代わりそこを支配することは、公爵家に大きな名誉と富を約束する。公爵は息子ポールの未来のため惑星アラキスに乗り込むが…。

2016.1./ 478p

978-4-15-012049-8

本体 ¥1,232〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



デューン砂の惑星<中> 新訳版(ハヤカワ文庫 SF 2050)

フランク・ハーバート、酒井 昭伸 著

早川書房

ハルコンネン男爵の策謀によってアトレイデス公爵が不慮の死をとげ、再度、アラキスは男爵の手に落ちてしまう。公爵の世継ぎポールは、危険な砂漠へ母ジェシカとともに逃れ、砂漠の民フremenの中に身を隠すが…。

2016.1./ 375p

978-4-15-012050-4

本体 ¥1,188〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



デューン砂の惑星<下> 新訳版(ハヤカワ文庫 SF 2051)

フランク・ハーバート、酒井 昭伸 著

早川書房

そして遂に復讐の時がきた。フremenの一員と認められたポールは、預言者ムアッディブとしてフremenの全軍勢を統率する立場になっていた。ハルコンネン家の圧政とポール指揮下のフremenの反撃に、惑星アラキスは揺れる!

2016.1./ 396p

978-4-15-012051-1

本体 ¥1,188〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



思考の自然誌

マイケル・トマセロ 著

勁草書房

ヒトの思考の独自性はどこにあるのか? 他者との協力を可能にした「志向性の共有」を切り口に、多様な社会や文化を築き上げたヒトの思考の進化を探る。「心とことばの起源を探る」の続編。

2021.1./ 9p,269p,31p

978-4-326-15469-2

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



新選組の料理人(光文社文庫 光文社時代小説文庫 か 53-5)

門井 慶喜 著

光文社

京の大火で長屋を焼かれ、妻子ともはぐれた浪人・菅沼鉢四郎は、ふとしたきっかけで、剣を握らぬ「賄方」として新選組に入隊することに。菅沼は隊士の暮らしや愛憎、組織の矛盾を間近で目にしてい…。

2021.2./ 373p

978-4-334-79160-5

本体 ¥792〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



「写真の都」物語～名古屋写真運動史 1911-1972～

竹葉 丈 著

国書刊行会

絵画主義や超現実主義の写真、リアリズム写真、公害や戦争を告発する闘争的写真群…。全国的にも有数の「写真都市」であった名古屋を中心に、「運動」をキーワードにして写真というメディアの無限の可能性を探る。

2021.2./ 288p

978-4-336-07198-9

本体 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



早稲田文学<2021 年春号> 創作松原俊太郎「光の中のアリス」(戯曲) 特集「オノマトペにもぐる/オノマトペがひらく」

早稲田文学会 編

筑摩書房

特集:「オノマトペに潜る／オノマトペを使う」 日常会話から言語芸術まで、オノマトペを通じて考える、言語表現の根幹と最新形。川原繁人×細馬宏通、秋田喜美、野村喜和夫ほか。創作:松原俊太郎「光の中のアリス」(戯曲)、中野睦夫「祭日」(早稲田文学新人賞第一作)ほか。

2021.3./ 273p

978-4-480-99325-0

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



アワビと古代国家～『延喜式』にみる食材の生産と管理～ (ブックレット<書物をひらく> 24)

清武 雄二 著

平凡社

アワビの食習慣と潜水漁は、古くから東アジア世界に列島社会の特徴として知られていた。古代の法制書「延喜式」を読み解き、古代国家がアワビという食材の生産と管理をどのように行っていたのか、その実態を探る。

2021.3./ 100p

978-4-582-36464-4

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



一碗をどうぞ～私の歩んできた道～

千 玄室 著

ミネルヴァ書房

戦争を生き抜いた人間として伝えるべきものがある。世界中を飛び回る大宗匠が、多くの人とご縁のなかで学び、また悩み苦しんできた日々を率直に語る。無常の世を生きる苦しさや孤独に負けない、心の磨き方のヒントが満載。

2020.11./ 7p,292p

978-4-623-08852-2

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



東大寺の考古学～よみがえる天平の大伽藍～ (歴史文化ライブラリー 518)

鶴見 泰寿 著

吉川弘文館

聖武天皇が造営した東大寺の創建当初の面影は、今日までどれほど残り、当時はどのような伽藍だったのか。文献や絵画資料の検証と、最新の発掘調査の成果を手がかりに、奈良時代の東大寺の実像に迫る。

2021.3./ 7p,222p

978-4-642-05918-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/04/11



オーソン・ウェルズ

アンドレ・バザン、堀 潤之 著
インスクリプト

1950 年フランス、毀誉褒貶の只中からウェルズを救い出すべく、若き批評家が筆を執る! ウェルズ作品の革新性を主題の深さから画面の深さへと論じ抜く、「作家主義」批評の先駆け。サルトルらの「市民ケーン」評も収録。

読売新聞 2021/04/11

2015.12./ 189p
978-4-900997-61-5
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 0 9 9 7 6 1 5 *



黄色いやづ〜真柄慎一短編集〜

真柄慎一 著
フライの雑誌社

小遣いはなかなか貯まらず、竿は買えないまま。そして釣れないまま。それでも毎日のように川へ向かった。僕は僕なりの素敵な大人になりたい…。16 編の物語。『フライの雑誌』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2021/04/11

2021.3./ 190p
978-4-939003-84-4
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 9 3 9 0 0 3 8 4 4 *



福島原発事故 10 年検証委員会〜民間事故調最終報告書〜

一般財団法人 アジア・パシフィック・イニシアティブ 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

3・11 後、独立した民間の立場から検証を行ったシンクタンクによる最後の報告書。福島原発事故から 10 年で、何を学び、何が変わったのかを伝えるとともに、未来への提言を行う。年表・索引付き。

読売新聞 2021/04/11、朝日新聞 2021/04/17

2021.2./ 310p
978-4-7993-2719-7
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 9 3 2 7 1 9 7 *



陶磁考古学入門〜やきもののグローバル・ヒストリー〜

野上 建紀 著
勁草書房

陶磁器の生産・流通・消費の歴史について考古学的に明らかにし、考古学的資料としての陶磁器を研究素材としながら、人類の生活、社会、文化、交流の歴史を復元していく陶磁考古学の入門書。コラム、カラー口絵、挿図も収録。

読売新聞 2021/04/17

2021.3./ 3p,282p 図
版 8 枚
978-4-326-20061-0
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 3 2 6 2 0 0 6 1 0 *



鳥が教えてくれた空(集英社文庫)

三宮 麻由子 著
集英社

読売新聞 2021/04/18

2004.8./ 261p
978-4-08-747732-0
本体 ¥605〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 4 7 7 3 2 0 *



人がつなぐ源氏物語〜藤原定家の写本からたどる物語の千年〜(朝日選書 1017)

伊井春樹 著
朝日新聞出版

2019 年、「源氏物語」の定家本「若紫」巻が発見された。定家本が絶対視されたのはなぜか。長い星霜を経て、愛読され続けた物語は、どんな文化を生み出したのか。書写という営みを通して人々が伝えた千年の歴史をひもとく。

読売新聞 2021/04/18

2021.2./ 350p
978-4-02-263104-6
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 0 2 2 6 3 1 0 4 6 *



テスカトリボカ

佐藤 究 著
KADOKAWA

メキシコの麻薬密売人バルミロと臓器売買コーディネーターの末永は、新たな闇ビジネスを実現させるため日本へ向かう。少年コシモは知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれ…。『カドブンノベル』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2021/04/18

2021:2./ 553p

978-4-04-109698-7

本体 ¥2,310〔税込〕



飼い喰い〜三匹の豚とわたし〜(角川文庫 う22-2)

内澤 旬子 著
KADOKAWA

世界各地の屠畜現場取材してきたイラストレーターが、一年間をかけ、三頭の肉豚を飼育、屠畜場に出荷し、肉にして食べるまでを綴る。「軒先豚飼育」を通じて現代の大規模養豚、畜産の本質に迫る体験ルポ。

読売新聞 2021/04/18

2021:2./ 349p

978-4-04-110910-6

本体 ¥880〔税込〕



軌道〜福知山線脱線事故 JR 西日本を変えた闘い〜(新潮文庫 ま-61-1)

松本 創 著
新潮社

2005年4月に発生したJR福知山線脱線事故。遺族と加害企業の社長。相反する立場の2人は巨大組織を変えるためにどう闘ったのか。遺族に静かに寄り添うジャーナリストが、13年間の「軌道」を描く。補章を加えて文庫化。

読売新聞 2021/04/18

2021:4./ 474p

978-4-10-102681-7

本体 ¥825〔税込〕



愛猿記(中公文庫 し15-18)

子母澤 寛 著
中央公論新社

誰にもなつかないと評判の猛猿が不思議と著者にはたちまちなついた。情にほだされ、二代目、三代目と飼い続けた著者と猿との十数年の日々…。骨太の作家の、意外な横顔を伝えるエッセイ。

読売新聞 2021/04/18

2021:3./ 329p

978-4-12-207046-2

本体 ¥968〔税込〕



日本占領下のレイテ島〜抵抗と協力をめぐる戦時下フィリピン周縁社会〜

荒 哲 著
東京大学出版会

フィリピン地方における日本占領の実態をレイテ島の実例を手がかりに検討。対日協力と対日抵抗をめぐって揺れ動く住民の対応を中心に、エリートのみならず民衆の行動も対象に入れながら考察する。

読売新聞 2021/04/18

2021:2./ 240p,89p

978-4-13-026168-5

本体 ¥10,340〔税込〕



ハイファに戻って(河出文庫 カ3-1)

G.カナファーニー、G.カナファーニー、黒田 寿郎、奴田原 睦明 著
河出書房新社

パレスチナ抵抗運動の中心で闘い、自動車爆弾によって夭折した作家がのこした名作群。20年ぶりに再会した親子の中にパレスチナとイスラエルの苦悩を凝縮させた「ハイファに戻って」など7篇を収録。

読売新聞 2021/04/18

2017:6./ 292p

978-4-309-46446-6

本体 ¥968〔税込〕





今、なぜドラッカーと渋沢なのか?～渋沢から経営思想を学んだドラッカー～

御手洗昭治 著
ごま書房新社

あの経営の神様・ドラッカーは、渋沢栄一から経営思想を学んだという意外性にフォーカスを当て、ドラッカーと渋沢の共通項、渋沢が米国を最重要視した理由等を探る。両者がポスト・コロナ時代をどう予測するかについても言及。

2021.3./ 245p
978-4-341-08783-8
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 3 4 1 0 8 7 8 3 8 *

読売新聞 2021/04/18



言葉にできない想いは本当にあるのか～WORD HUNT～

いしわたり 淳治 著
筑摩書房

ロジカルな歌詞分析が話題の作詞家が、音楽、テレビ、広告、本、映画から気になるフレーズをピックアップ。独自の視点で解説する<言葉>にまつわるコラム集。朝日新聞デジタル『&M』連載に書下ろしなどを加えて書籍化。

2020.12./ 238p
978-4-480-81560-6
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 0 8 1 5 6 0 6 *

読売新聞 2021/04/18



若冲のひみつ～奇想の絵師はなぜ海外で人気があるのか～(PHP新書 1253)

山口 桂 著
PHP研究所

コレクターたちは、若冲の何に惹かれて、蒐集を行なったのか。海外からみた日本美術の魅力をおクシヨンの世界から解説する。日本文学研究者・ロバートキャンベルとの対談も収録。

2021.3./ 157p
978-4-569-84915-7
本体 ¥1,012〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 9 8 4 9 1 5 7 *

読売新聞 2021/04/18



蔵を継ぐ～日本酒業界を牽引する5人の若き造り手たち～(双葉文庫 や-40-01)

山内聖子 著
双葉社

親の代の「負の遺産」を抱え、なぜ彼らは家業を継いだのか。日本酒ブームを生み出した若き蔵元たちの熱き想いに、とことん一緒に酒を酌み交わした同世代のライターが迫る。オススメ酒販店リスト/飲食店リスト付き。

2021.3./ 234p
978-4-575-71488-3
本体 ¥682〔税込〕
* 9 7 8 4 5 7 5 7 1 4 8 8 3 *

読売新聞 2021/04/18



カンマの女王～「ニューヨーカー」校正係のここだけの話～

メアリ ノリス 著
柏書房

正しい英語とはなんだろう? カンマの思想とは? 鬼校正者はどこを見る!? アメリカの老舗雑誌『ニューヨーカー』の校正係メアリ・ノリスによる、細かすぎてユーモラスな校正エッセイ。

2020.12./ 285p
978-4-7601-5259-9
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 7 6 0 1 5 2 5 9 9 *

読売新聞 2021/04/18



若い読者のための文学史(Yale University Press Little Histories)

ジョン・サザーランド 著
すばる舎

神話からベストセラーまで、文学はなぜ人々を魅了するのか。ホメロス、シェイクスピア、カフカ、村上春樹…。社会に衝撃を与え、商業的に成功し、後世の書棚に残った魅力的な作品を、たっぷりの情報とともに面白く語り尽くす。

2020.12./ 373p
978-4-7991-0941-0
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 9 1 0 9 4 1 0 *

読売新聞 2021/04/18



オオカミ

多和田葉子 著
論創社

都会の白兎は何を食って生きているのか。現代社会を諷刺し、境界を超えていく、不思議さ、可笑しさ、不気味さはらむ物語を、美しく細密な銅版画絵で描く。多和田葉子の世界と出会えるアート絵本。

2021:4./ 1 冊(ページ
付なし)

978-4-8460-1972-3

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/04/18



フタとともに

山地としてる 著
青幻舎

心が通う喜び、別れの悲しみ。またやってくる、新しい命-。2007 まで香川県にあった養豚場の風景を紹介。人と動物が出会い、ひとときをともにする、かけがえのない喜びが詰まった一冊。

2021:1./ 32p

978-4-86152-825-5

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/04/18



時代劇聖地巡礼

春日太一 著
ミシマ社

「鬼平犯科帳」のオープニングを撮影した下鴨神社、「必殺」シリーズの中村主水がくぐった大覚寺の門…。時代劇研究家が京都・滋賀にある時代劇の撮影場所 41 カ所を、写真とともに紹介する。

2021:4./ 253p

978-4-909394-50-7

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/04/18



現代音楽史～闘争しつづける芸術のゆくえ～(中公新書 2630)

沼野 雄司 著
中央公論新社

20 世紀に大きく変貌した西洋音楽。多くの作曲家が既存の音楽の解体をめざして無調、十二音技法、トーン・クラスター、偶然性の音楽など、音の実験を繰り返した。時代との闘争を続ける「新しい」音楽のゆくえをたどる。

2021:1./ 5p,282p

978-4-12-102630-9

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/04/18、毎日新聞 2021/04/24



東京日記～他六篇～(岩波文庫)

内田 百閒 著
岩波書店

読売新聞 2021/04/25

1992:7./ 261p

978-4-00-311272-4

本体 ¥704〔税込〕



犬神博士 改版(角川文庫)

夢野 久作 著
角川書店

おかっぱ頭の少女チイは、じつは男の子。大道芸人の両親に連れられて各地を踊ってまわるうちに、大人たちのインチキを見破り、炭田の利権をめぐる抗争でも大活躍。体制の支配に抵抗する民衆のエネルギーを熱く描く。

2008:12./ 358p

978-4-04-136613-4

本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



瓶詰の地獄 改版(角川文庫)

夢野 久作 著

角川書店

海難事故により遭難し、南国の小島に流れ着いた可愛らしい二人の兄妹。彼らがどれほど恐ろしい地獄で生きねばならなかったのか。読者を幻魔境へと誘い込む、夢野ワールド7編。

読売新聞 2021/04/25

2009:3./ 283p

978-4-04-136614-1

本体 ¥704〔税込〕



百鬼園随筆(新潮文庫)

内田 百閒 著

新潮社

読売新聞 2021/04/25

2002:4./ 362p

978-4-10-135631-0

本体 ¥649〔税込〕



ノラや 改版(中公文庫)

内田 百閒 著

中央公論新社

読売新聞 2021/04/25

1997:1./ 321p

978-4-12-202784-8

本体 ¥796〔税込〕



運は数学にまかせなさい～確率・統計に学ぶ処世術～(ハヤカワ文庫 NF)

ジェフリー・S. ローゼンタール、中村 義作、柴田 裕之 著

早川書房

〈数理を愉しむシリーズ〉宝くじを買うべきでない理由から迷惑メール対策まで、賢く生きるための確率統計の勘所

読売新聞 2021/04/25

2010:7./ 426p

978-4-15-050369-7

本体 ¥924〔税込〕



権力分立論の誕生～ブリテン帝国の『法の精神』受容～

上村 剛 著

岩波書店

いかにして権力分立論は姿を現したのか。18 世紀後半のブリテン帝国における「法の精神」の受容に注目し、モンテスキューからアメリカ合衆国憲法制定時のマディソンらに至る政治思想史を精緻に叙述する。

読売新聞 2021/04/25

2021:3./ 8p,338p

978-4-00-061460-3

本体 ¥7,260〔税込〕



押絵の奇蹟(角川文庫 ゆ 2-6)

夢野 久作 著

KADOKAWA

明治35年、美貌のピアニスト・井ノロトシ子が演奏中、咯血して倒れる。死を悟った彼女が綴る手紙には、自身の出生の秘密が…。表題作のほか、「氷の涯」「あやかしの鼓」を収録。

読売新聞 2021/04/25

2013:10./ 337p

978-4-04-101044-0

本体 ¥748〔税込〕



**ドグラ・マグラ<上>(角川文庫)**

夢野 久作 著
角川書店

昭和 10 年 1 月、書き下ろし自費出版。狂人の書いた推理小説という異常な状況設定の中に著者の思想、知識を集大成し、”日本一幻魔怪奇の本格探偵小説”とうたわれた、歴史的一大奇書。

1976.10./ 324p
978-4-04-136603-5
本体 ¥572〔税込〕



読売新聞 2021/04/25

**ドグラ・マグラ<下>(角川文庫)**

夢野 久作 著
角川書店

昭和 10 年 1 月、書き下ろし自費出版。狂人の書いた推理小説という異常な状況設定の中に著者の思想、知識を集大成し、”日本一幻魔怪奇の本格探偵小説”とうたわれた、歴史的一大奇書。

1999.7./ 382p
978-4-04-136604-2
本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/04/25

**非日常の謎～ミステリアンソロジー～(講談社タイガ フ C-03)**

芦沢 央／阿津川 辰海／木元 哉多／城平 京／辻堂 ゆめ／風良 ゆう 著
講談社

日々の生活の狭間、刹那の非日常で生まれる謎をテーマにしたアンソロジー。辻堂 ゆめ「十四時間の空の旅」、風良ゆう「表面張力」、城平京「これは運命ではない」など全 6 編を収録。『小説現代』掲載を文庫化。

2021.3./ 240p
978-4-06-522823-4
本体 ¥726〔税込〕



読売新聞 2021/04/25

**テッパン(小学館文庫 う 15-1)**

上田 健次 著
小学館

中学の同窓会。30 年以上を経て開けたタイムカプセルには、懐かしいグッズの数々が。吉田のカプセルにはビニ本に警棒、そして小さく折りたたまれたおみくじ。それは町一番の不良との思い出の品で…。ひと夏の切ない物語。

2021.3./ 261p
978-4-09-406890-0
本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/04/25

**死後の恋～夢野久作傑作選～(新潮文庫 ゆ-15-1)**

夢野 久作 著
新潮社

ロシア革命直後のウラジオストックで、怪しい男がロマノフ王家の宝石にまつわる奇妙な体験を語る表題作をはじめ、夢と現の狭間へと誘う奇才・夢野久作ワールドから厳選した甘美と狂気の全 10 編を収録。

2016.11./ 450p
978-4-10-120641-7
本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/04/25

**第一阿房列車(新潮文庫)**

内田 百閒 著
新潮社

読売新聞 2021/04/25

2003.4./ 317p
978-4-10-135633-4
本体 ¥649〔税込〕





哲学漫想

山崎 正和 著
中央公論新社

現代を代表する知識人の最後の評論集。死の直前まで書き継がれた「リズムの発現と言語文明」をはじめ、2016 年 3 月以降の論考、時評、書評を収録。人類の壮大な文明史の流れを踏まえ、日本人が進むべき方向を指し示す。

2021:2./ 314p
978-4-12-005389-4
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



おじさんはどう生きるか

松任谷 正隆 著
中央公論新社

馬の合わない老母との距離感、ユーミンとの長い夫婦生活での悲喜こもごも…。日常をクスリと笑って過ごすヒントを届けるエッセイ集。ジェーン・スーとの対談も収録。『読売新聞』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021:3./ 252p
978-4-12-005413-6
本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



法の精神(中公クラシックス W86)

モンテスキュー 著
中央公論新社

観念論的法思想を超えた法社会学の先駆。三権分立を論じ、合衆国憲法やフランス革命に影響を与えた代表作。モンテスキューの生涯と著作を取り上げた解説も収録する。

2016:3./ 26p,330p
978-4-12-160165-0
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



それはあくまで偶然です～運と迷信の統計学～

ジェフリー・S・ローゼンタール 著
早川書房

賭けごとの必勝法、占い、日常のささいな物事に見出す不吉な予兆…そこに「意味のある」理由は存在するのか？ ランダム性が支配する世界の謎を解き明かし、統計学者としての生きざまをユーモアたっぷりに語る。

2021:1./ 461p
978-4-15-209995-2
本体 ¥2,530〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



紙の動物園(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5020)

ケン・リュウ、古沢 嘉通 編
ケン・リュウ 著

早川書房

ぼくの母さんが作ってくれる折り紙の虎や水牛は、みな命を吹き込まれて生き生きと動いていた…。怜悯な知性と優しいまなざしが交差する全 15 篇を収録した、アメリカ SF の新鋭がおくる短篇集。

2015:4./ 413p
978-4-15-335020-5
本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



宇宙の春(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5052)

ケン・リュウ 著
早川書房

死に絶え、そしてまた生まれ変わる宇宙の変遷を四季の変化に見立てて描いた表題作、「三国志」を大胆に換骨奪胎したシスターフッド×メタモルフォーゼ冒険譚「灰色の兎、深紅の牝馬、漆黒の豹」など全 10 篇を収録。

2021:3./ 307p
978-4-15-335052-6
本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/04/25



完落ち～警視庁捜査一課「取調室」秘録～

赤石 晋一郎 著

文藝春秋

ロス疑惑、地下鉄サリン事件など、数多くの大事件の捜査に携わった“伝説の刑事”は、いかにして犯罪者を追い詰めたのか。取調室での緊迫したやりとりを初めて明かす。『文藝春秋』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2021/04/25

2021:4./ 235p

978-4-16-391358-2

本体 ¥1,760〔税込〕



義経の東アジア(文春学芸ライブラリー 歴史 40)

小島 毅 著

文藝春秋

義経はなぜ平泉に逃げたのか。清盛はなぜ福原に遷都し、宋と貿易したのか。中国大陸の宋と金は、源平の戦いとどう関わったのか。東アジアの視点から歴史のダイナミズムを捉える。保立道久、加藤陽子との座談会も収録。

読売新聞 2021/04/25

2021:4./ 314p

978-4-16-813091-5

本体 ¥1,540〔税込〕



その日の墨(河出文庫 し 21-1)

篠田 桃紅 著

河出書房新社

初めて筆を持った 5 歳のお正月。「ヨコ、タテ、ヨコ、タテ、ヨコ」と大きな声を出して墨で紙に書いた「正」の字。ここから篠田桃紅の芸術が始まった。書の修練によって墨で独自の美を創りだした国際的抽象美術家が半生を綴る。

読売新聞 2021/04/25

2014:12./ 251p

978-4-309-41335-8

本体 ¥924〔税込〕



大相撲 40 年史～私のテレビ機軸～(ちくま新書 1557)

小谷野 敦 著

筑摩書房

北の湖・輪島から四横綱時代から千代の富士時代、貴乃花・曙・武蔵丸時代、朝青龍・白鵬時代まで、40 年間の相撲界を著者自身の個人的体験を織り込んだクロニクル形式で振り返る。八百長事件など土俵外の騒動も解説。

読売新聞 2021/04/25

2021:3./ 243p, 11p

978-4-480-07379-2

本体 ¥924〔税込〕



墨いろ

篠田 桃紅 著

PHPエディターズ・グループ

ラクで間違いなくやれることであんまりおもしろいことはない。それを知ることが、人生というものに飽きずに生きる秘訣かもしれない。美術家・篠田桃紅の代表作エッセイを復刊。

読売新聞 2021/04/25

2016:9./ 254p

978-4-569-83192-3

本体 ¥1,100〔税込〕



少年は世界をのみこむ

トレント・ダルトン 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

壊れた家族。ろくでもない毎日。それでも少年イーライは濁った日常のなかに色彩を探す。彼の夢は新聞記者になり、この世界を変えること。危うさと眩しさが織りまざる少年期を描いた、オーストラリアのベストセラー小説。

読売新聞 2021/04/25

2021:2./ 583p

978-4-596-55213-6

本体 ¥2,860〔税込〕





感情の哲学入門講義

源河 亨 著

慶應義塾大学出版会

感情と理性は対立するのか。ロボットは感情をもてるのか。「感情」や「人間」「哲学」にまつわる疑問に答える哲学の入門書。大学での全15回の講義を書籍化。

読売新聞 2021/04/25

2021:1./ 235p,3p

978-4-7664-2719-6

本体 ¥2,200〔税込〕



日本の装束解剖図鑑～古代から現代までイラストで読み解く有職故実の世界～

八條 忠基 著

エクスナレッジ

朝廷や公家、武家の人びとが身にまもっていた「装束」に隠されたルーツや着こなし、文様の意味、時代背景をオールカラーイラストで徹底解説。古代から現代に至るまでの有職故実の世界を色鮮やかに紐解く。

読売新聞 2021/04/25

2021:3./ 127p

978-4-7678-2861-9

本体 ¥1,760〔税込〕



ひきこもり国語辞典～ひきこもり当事者のリアルなことば～

松田武己 著

時事通信出版局

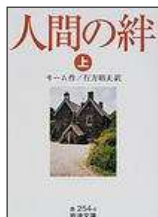
長髪=ある一線を超えて社会に入ってはいかない、馴染むつもりはないことを暗黙のうちに表現する…。ひきこもりの特徴的な言動に象徴的な見出しを付けた国語辞典。4コマ漫画や川柳をまねた五七五なども収録する。

読売新聞 2021/04/25

2021:3./ 263p

978-4-7887-1718-3

本体 ¥1,760〔税込〕



人間の絆<上>(岩波文庫)

モーム、行方 昭夫 著

岩波書店

モームの半自伝的長篇の待望の新訳

日本経済新聞 2021/04/03

2001:10./ 433p

978-4-00-322546-2

本体 ¥1,144〔税込〕



人間の絆<中>(岩波文庫)

モーム、行方 昭夫 著

岩波書店

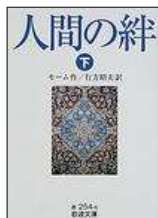
モームの最高傑作長篇・待望の翻訳

日本経済新聞 2021/04/03

2001:11./ 416,12p

978-4-00-322547-9

本体 ¥1,122〔税込〕



人間の絆<下>(岩波文庫)

モーム 著

岩波書店

モームの最高傑作ついに完結(全3冊)

日本経済新聞 2021/04/03

2001:12./ 452p

978-4-00-322548-6

本体 ¥1,144〔税込〕



林達夫芸術論集(講談社文芸文庫)

林 達夫、高橋 英夫 著

講談社

日本経済新聞 2021/04/03

2009:6./ 301p

978-4-06-290052-2

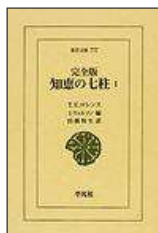
本体 ¥1,650〔税込〕





日はまた昇る(新潮文庫)
ヘミングウェイ、高見 浩 著
新潮社
日本経済新聞 2021/04/03

2003:6./ 487p
978-4-10-210013-4
本体 ¥737〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 2 1 0 0 1 3 4 *



知恵の七柱<1> 完全版(東洋文庫)
T. E. ロレンス、J. ウィルソン、田隅 恒生 著
平凡社
T. E. ロレンスが1922年に完成した自筆原稿と同校正原稿を、J. ウィルソンが編纂したことによって1997年に初めて公表された「知恵の七柱」完全テキスト(オクスフォード・テキスト)の翻訳。

2008:8./ 382p
978-4-582-80777-6
本体 ¥3,300〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 8 0 7 7 7 6 *

日本経済新聞 2021/04/03



デヴィッド・ボウイ～無を歌った男～
田中 純 著
岩波書店
異星人、救世主、亡霊…。ロックとロックならざるものの境界を、変幻するスタイルでラディカルに問いつづけたデヴィッド・ボウイ。彼の軌跡に一貫した「作家性」を認め、作品批評を通して、ひとつの美学・思想として読み解く。

2021:2./
21p,570p,54p
978-4-00-024061-1
本体 ¥5,390〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 0 6 1 1 *

日本経済新聞 2021/04/03



ドリトル先生航海記 新版(岩波少年文庫 22)
ヒュー・ロフティン グ 著
岩波書店
トミー少年や動物たちをつれて航海に出たドリトル先生は、漂流するクモサル島に上陸。島民の敵をやっつけて島の王様選ばれたりしますが、やがて大カタツムリの殻にもぐって帰国します。78年刊に次ぐ新版。

2000:6./ 391p
978-4-00-114022-4
本体 ¥880〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 1 1 4 0 2 2 4 *

日本経済新聞 2021/04/03



林達夫評論集(岩波文庫 青 155-1)
中川 久定 編
林 達夫 著
岩波書店
歴史家として批評家としてまた編集者として、戦前・戦後を通じ、政治・思想・文化の動向につねに鋭い批判の矢を放ってきた林達夫。稀有なまでの自由な精神に支えられ、驚くほど多岐の領域にわたって展開するその著作すべてを貫く批評精神とは何なのか。ここに18篇を精選して、林達夫の精神のスタイルを浮き彫りにする。

1982:7./ 362p
978-4-00-331551-4
本体 ¥1,067〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 3 3 1 5 5 1 4 *

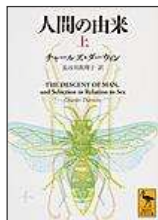
日本経済新聞 2021/04/03



旅を栖(すみか)とす
高橋 久美子 著
KADOKAWA
ゾウの頭の上でその可愛さと揺れにメロメロ、失恋を引きずるダメンズと友人になったタイ王国。サハラ砂漠から日本のラジオに生中継…。バックパックを背負って世界の国々に飛び込んだ詩人による旅エッセイ。

2021:1./ 254p
978-4-04-109380-1
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 3 8 0 1 *

日本経済新聞 2021/04/03



人間の由来<上>(講談社学術文庫 2370)

チャールズ・ダーウィン 著

講談社

「種の起源」から 12 年を経たダーウィンが、昆虫から魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を経て人間に至る進化を「性淘汰」で解説。上は、人間の由来と起源を説く総論から昆虫を扱う第 11 章までを収録する。

日本経済新聞 2021/04/03

2016/9./ 528p

978-4-06-292370-5

本体 ¥1,650〔税込〕



人間の由来<下>(講談社学術文庫 2371)

チャールズ・ダーウィン 著

講談社

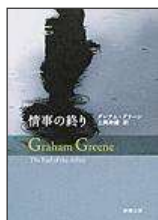
「種の起源」から 12 年を経たダーウィンが、昆虫から魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を経て人間に至る進化を「性淘汰」で解説。下は、魚類から人間までを扱う諸章と結論を、訳者解説とともに収録する。

日本経済新聞 2021/04/03

2016/10./ 505p

978-4-06-292371-2

本体 ¥1,595〔税込〕



情事の終り(新潮文庫 ク-6-1)

グレアム・グリーン 著

新潮社

人妻サラとの道ならぬ恋から 1 年半。作家ベンドリックスは、サラの夫と邂逅する。妻の行動を疑い、悩む夫を言葉巧みに説得した作家は、サラを探偵に監視させることに成功するが…。究極の愛と神の存在を問う名篇。

日本経済新聞 2021/04/03

2014/5./ 382p

978-4-10-211004-1

本体 ¥737〔税込〕



恋するアダム(CREST BOOKS)

イアン・マキューアン 著

新潮社

独身男のチャーリーは最新型アンドロイドのアダムを購入した。アダムの AI 能力を利用して、チャーリーは美しい女子学生ミランダと恋仲になる。だが、アンドロイドのアダムが彼女に恋心を抱き始めて…。

日本経済新聞 2021/04/03

2021/1./ 399p

978-4-10-590171-4

本体 ¥2,750〔税込〕



男が介護する～家族のケアの実態と支援の取り組み～(中公新書 2632)

津止 正敏 著

中央公論新社

かつて女性中心で行われてきた家族の介護。今では男性が担い手の 3 分の 1 を占めるが、問題は少なくない。悲喜こもごものケアの実態、介護する男性が集い、支え合う各地のコミュニティの活動を、豊富なエピソードを交えて紹介。

日本経済新聞 2021/04/03

2021/2./ 7p,227p

978-4-12-102632-3

本体 ¥902〔税込〕



そして、すべては迷宮へ(文春文庫 な 58-9)

中野 京子 著

文藝春秋

絵画鑑賞に新たな視点を提示した著者は、芸術を、人を、どのように洞察するのか。名画との邂逅や、穏やかに見える日常から掬い取るおかしみと悦びの数々を綴ったエッセイ集。新聞、雑誌掲載を文庫化。

日本経済新聞 2021/04/03

2021/3./ 286p

978-4-16-791666-4

本体 ¥957〔税込〕





教養としての AI 講義～ビジネスパーソンも知っておくべき「人工知能」の基礎知識～

メラニー・ミッチェル 著

日経BP社

大きな進歩を遂げて、活用が広がる人工知能(AI)。AI の成果とその仕組みから、多くの未解決問題、潜在的な利益とリスク、科学的・哲学的な問題まで、AI の現況と見通しを深く掘り下げつつ、わかりやすく説明する。

2021.2./ 465p

978-4-296-00012-8

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/03



種の起源<上>(光文社古典新訳文庫)

ダーウィン、渡辺 政隆 著

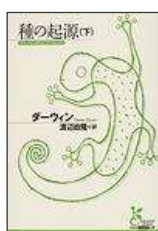
光文社

日本経済新聞 2021/04/03

2009.9./ 423p

978-4-334-75190-6

本体 ¥924〔税込〕



種の起源<下>(光文社古典新訳文庫)

ダーウィン、渡辺 政隆 著

光文社

日本経済新聞 2021/04/03

2009.12./ 436p

978-4-334-75196-8

本体 ¥924〔税込〕



ディズニーと動物～王国の魔法をとく～(筑摩選書 0206)

清水 知子 著

筑摩書房

ディズニーの物語は現代の政治、社会、文化、自然に何をもたらし、映像は私たちにどのような影響を及ぼしてきたか。その世界の舞台裏を探る。筑波大学での講義をもとに書籍化。

2021.2./ 331p

978-4-480-01722-2

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/03



ウィリアム・アダムス～家康に愛された男・三浦按針～(ちくま新書 1552)

フレデリック・クレインス 著

筑摩書房

徳川家康の信頼を得て、側近の一人として家康の外交政策に大きな影響を及ぼしたイギリス人航海士ウィリアム・アダムス(三浦按針)。彼は何をなし、どんな晩年を送ったのか。アダムスの生涯から世界史の中の日本史を捉え直す。

2021.2./ 300p

978-4-480-07367-9

本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/03



帝国の遺産～何が世界秩序をつくるのか～

サミール・プリ 著

東京堂出版

世界で今起きていることは「文明の衝突」ではない。「帝国の残像の衝突」である！崩壊した帝国の遺産が発展または変容し、現代の国家安全保障や外交政策、国際支援、世界貿易とどうつながっているのかを読み解く。

2021.2./ 502p

978-4-490-21046-0

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/03



指輪物語<1> 新版 旅の仲間 上(1)(評論社文庫)

J.R.R.トールキン 著

評論社

日本経済新聞 2021/04/03

1992:7./ 252p

978-4-566-02362-8

本体 ¥770〔税込〕



さよなら、男社会

尹 雄大 著

亜紀書房

真に女性と、他者とつながるために、乗り越えねばならない「男性性」の正体とは何か。自らの体験を出発点に「いかにして男はマッチョになるのか」「どうすれば男性性を脱ぎ去ることができるのか」を問う当事者研究の書。

日本経済新聞 2021/04/03

2020:12./ 205p

978-4-7505-1676-9

本体 ¥1,540〔税込〕



1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書

藤尾秀昭 著

致知出版社

稲盛和夫、王貞治、佐藤可士和、羽生善治、平尾誠二、山中伸弥...『致知』に掲載した、各界各様、それぞれの仕事を真剣に生きる人たちへのインタビューから 365 人の言葉を選び出してまとめる。

日本経済新聞 2021/04/03

2020:11./ 422p

978-4-8009-1247-3

本体 ¥2,585〔税込〕



航路を守れ〜バンガードとインデックス革命の物語〜

ジョン・C・ボーグル 著

幻戯書房

「長期・分散・低コスト」をコンセプトに昨今、日本でも急激に広まりつつあるインデックス投資。史上初めてそれを個人向けに提供した投資会社バンガード・グループの創設者が、苦難の歴史と揺るぎなき信念を語る。

日本経済新聞 2021/04/03

2021:1./ 475p

978-4-86488-213-2

本体 ¥3,080〔税込〕



土葬の村(講談社現代新書 2606)

高橋 繁行 著

講談社

近い将来、日本の墓地から完全に消滅するであろう土葬。30年にわたる土葬の村の調査記録をはじめ、野焼き火葬の村、風葬の聖地・与論島の風習、土葬や野辺送りの怪談・奇譚について書き記す。

日本経済新聞 2021/04/03、東京・中日新聞 2021/04/04

2021:2./ 312p

978-4-06-522544-8

本体 ¥1,100〔税込〕



チャイナテック〜中国デジタル革命の衝撃〜

チョウ イーリン 著

東洋経済新報社

「世界の工場」から「イノベーション大国」に。想像を凌駕する世界最先端国家、中国の全貌とは。デジタル技術基盤の開発や社会実装を担うチャイナテックの実相に迫る。

日本経済新聞 2021/04/03、読売新聞 2021/04/04

2021:1./ 257p,4p

978-4-492-50325-6

本体 ¥1,870〔税込〕





人生100年時代の年金制度～歴史的考察と改革への視座～

日本年金学会 編

権丈 善一／西村 淳 著

法律文化社

社会とともに変化していく年金制度。「公的年金制度」「私的年金制度」の2部構成で、研究者や実務家が年金の過去・現在・未来を論じる。日本年金学会の創立40周年を記念した論文集。

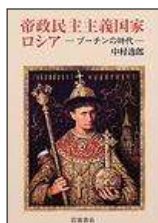
2021.1./ 7p,247p

978-4-589-04120-3

本体 ¥4,290〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/03、読売新聞 2021/04/18



帝政民主主義国家ロシア～プーチンの時代～

中村 逸郎 著

岩波書店

「プーチンの時代」はロシア市民にとってどういう時代か。その支配のメカニズムと内在する問題を明らかにしつつ、「慈父たるツァーリ」にすぎない市民生活の実像と揺れ動く彼らの意識を聞き取り調査から浮き彫りにする。

2005.4./ 247,8p

978-4-00-024013-0

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



復興期の精神(講談社文芸文庫)

花田 清輝 著

講談社

ルネッサンスを生きたダンテ、ダ・ヴィンチら22人の生の軌跡を追求、滅亡に向かう文明の復活の秘密を探る。大胆なレトリックと苛烈な批判精神が横溢する名著！戦時下執筆の比類なき抵抗の書にして代表作！ルネッサンスを生きたダンテ、ダ・ヴィンチら22人の生の軌跡を追求、滅亡に向かう文明の復活の秘密を探る。大胆なレトリックと苛烈な批判精神が横溢する名著！

2008.5./ 285p

978-4-06-290013-3

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



ヒンドゥー教10講(岩波新書 新赤版 1867)

赤松 明彦 著

岩波書店

密教儀礼や帰依観念など、日本の宗教にも通ずる面をもつヒンドゥー教。本質論に陥らず、歴史的・地域的・社会的な重層性に注意しながら、テキストを丁寧に読み解いて、ヒンドゥー教の思考と実践をとらえる体系的入門書。

2021.2./ 4p,256p,25p

978-4-00-431867-5

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



サピエンスの未来～伝説の東大講義～(講談社現代新書 2605)

立花 隆 著

講談社

現代の困難を乗り越える指針に満ちた、「知の巨人」立花隆による伝説の東大講義。物質、生命、脳、宇宙など、あらゆるテーマを総合する立花人間学の集大成。『新潮』連載を元に書籍化。

2021.2./ 397p

978-4-06-522530-1

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



木内語録～甲子園三度優勝の極意～(集英社文庫 た 93-1)

田尻 賢誉 著
集英社

人情味溢れる語りと、マジックとも呼ばれた独創的な采配で甲子園優勝 3 回、準優勝 2 回を果たした名将・木内幸男。球児たちに投げかけた、不変であり普遍的“魔法の言葉”をまとめた語録集。

日本経済新聞 2021/04/10

2021:3./ 282p
978-4-08-744225-0
本体 ¥660〔税込〕



ダークデータ～隠れたデータこそ最強の武器になる～

デイヴィッド・J・ハンド 著
河出書房新社

正しく認識しているつもりでも、たいせつな情報を見落としがち。そんな「ダークデータ」はどのように生じるのか。医療・健康、マネー、アンケート調査、科学論文などの事例をまじえて、情報分析の極意を伝授する。

日本経済新聞 2021/04/10

2021:2./ 322p,18p
978-4-309-25420-3
本体 ¥2,860〔税込〕



防災カードゲーム シャッフル プラス

プラスアーツ 著
幻冬舎

知っておけばどんな災害の時にも慌てずに済む！大事な知識を遊びながら身につけられるカードゲームです

日本経済新聞 2021/04/10

2021:2.
978-4-344-79020-9
本体 ¥1,870〔税込〕



ルポ プーチンの戦争～「皇帝」はなぜウクライナを狙ったのか～(筑摩選書 0168)

真野 森作 著
筑摩書房

2014 年から、ウクライナで「戦争」が続いている。権力中枢に迫り、破壊された街に潜入して戦闘員と市民の声を聞く。プーチン政権によるハイブリッド戦争の生の姿を報告するルポ。『毎日新聞』掲載記事を基に大幅に加筆。

日本経済新聞 2021/04/10

2018:12./ 394p
978-4-480-01676-8
本体 ¥1,980〔税込〕



アメリカを動かす宗教ナショナリズム(ちくま新書 1553)

松本 佐保 著
筑摩書房

アメリカの人口の 3 分の 1 を占める「福音派」とは何か？ 政治、経済、外交にまで影響を与える宗教ロビーの役割を解説。新型コロナウイルス感染症に対するカトリック、福音派の動きや、バイデン新大統領誕生の秘密にも迫る。

日本経済新聞 2021/04/10

2021:2./ 227p
978-4-480-07378-5
本体 ¥902〔税込〕



「帝国」ロシアの地政学～「勢力圏」で読むユーラシア戦略～

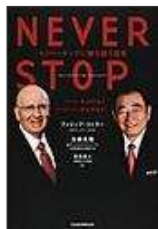
小泉 悠 著
東京堂出版

ウクライナへの軍事侵攻とクリミア半島併合、中東への介入、中国への接近、日本との北方領土問題…。近年広がりを見せるロシアの「勢力圏」。その狙いは何か？「境界」の概念を軸として、ロシアの地政学的戦略を解説する。

日本経済新聞 2021/04/10

2019:6./ 291p
978-4-490-21013-2
本体 ¥2,640〔税込〕





NEVER STOP～イノベータータイプに勝ち抜く経営～

フィリップ・コトラー／古森 重隆 著

日本経済新聞出版社

富士フイルムは、いかにしてデジタル化の波を越えられたのか。なぜ多角化に成功できたのか。マーケティング 4.0 とは何なのか。存亡の危機を成長の機会に変えた富士フイルム変革の秘密に、マーケティングの大家が切り込む。

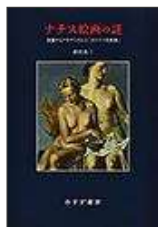
2021.2./ 278p

978-4-532-32376-9

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



ナチス絵画の謎～逆襲するアカデミズムと「大ドイツ美術展」～

前田良三 著

みすず書房

1937 年ミュンヘン、「頹廢美術展」と同時に開催された「大ドイツ美術展」とは。その出品絵画、ツィーグラー「四大元素」解説を軸に、ナチス美術の全体像を考察。さらに、文化史におけるナチス美術の意味を明らかにする。

2021.3./ 254p,32p

978-4-622-08986-5

本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



日本外食全史

阿古 真理 著

亜紀書房

江戸の昔から、日本人の胃袋と心を満たし、人と人のつながりを生み出してきた外食。高級フレンチ、寿司、天ぷらからファミレス、カレー、ラーメン、アジア飯まで、あらゆるジャンルの誕生や流行の変遷を紹介する。

2021.3./ 659p

978-4-7505-1683-7

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



防災クエスト～家族みんなで防災ミッションを攻略しよう！～

辻 直美 著

小学館クリエイティブ

家の防御力を上げる、防災リュックを装備する、節水ミッションに挑戦する…。防災をロールプレイングゲームに見立て、子育て家族がみんなで防災スキルを身につけられるよう、マンガを交えて解説する。

2021.3./ 103p

978-4-7780-3562-4

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



絶版新書交響楽～新書で世界の名作を読む～

近藤 健児 著

青弓社

今では忘れられた世界の名作が、かつて新書で書店に並んでいた。岩波新書、ミロン・ブックス、河出新書、英米名作ライブラリー、白水 U ブックス…。新書名作群から 72 点を厳選し、作品世界を解説する。書影も多数所収。

2021.2./ 208p

978-4-7872-9258-2

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



未来を実装する～テクノロジーで社会を変革する 4 つの原則～

馬田 隆明 著

英治出版

電気の社会実装の歴史から、国のコンタクトトレーシングアプリ、電子署名、遠隔医療、見守りカメラ、Airbnb まで。新しい技術を社会に普及させる「社会実装」の成功の原則を、様々な事例から読み解く。

2021.1./ 475p

978-4-86276-304-4

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10



おしゃれ防災アイデア帖～日々の暮らしに馴染み、“もしも”の時は家族を守る 70 の備え～

Misa 著

山と溪谷社

普段の暮らしに馴染む「備える」ものたち、安心して暮らすための部屋づくりとインテリア、清潔をキープして暮らすための片付けと掃除…。防災を無理なく続けるための、暮らしの工夫とアイデアを紹介します。

2021:3./ 127p
978-4-635-49054-2
本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10、朝日新聞 2021/04/17



麻薬と人間～100年の物語～

ヨハン・ハリ 著

作品社

「麻薬戦争」とは、米国流の「麻薬撲滅のための戦争」のこと。100年におよぶ「麻薬戦争」の歴史をたどり、「麻薬の危険性」の科学的根拠についても、専門家たちの検証を紹介する。2021年公開映画の原作。

2021:2./ 501p
978-4-86182-792-1
本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10、朝日新聞 2021/04/24



福島モノローグ

いとう せいこう 著

河出書房新社

震災でブツッと断ち切られてしまったんですよ。その先あったはずの未来というか、父とやるはずだったいろんなものが。福島から語られる「いま」の声を「聴いた」記録。『文藝』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:2./ 201p
978-4-309-02949-8
本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/10、東京・中日新聞 2021/04/25



武士の家計簿～「加賀藩御算用者」の幕末維新～(新潮新書)

磯田 道史 著

新潮社

日本経済新聞 2021/04/17

2003:4./ 222p
978-4-10-610005-5
本体 ¥836〔税込〕



聖地と日本人(角川ソフィア文庫 J101-6)

小松 和彦 著

KADOKAWA

鞍馬・僧正ヶ谷、比叡山横川、河原院、熊野…。俗世の向こう側にある極楽・地獄として、日本列島のなかに見出された聖地とはいかなる場所であったのか。多彩な史料を手がかりに、中世の京都人が聖なる場所に込めた思いに迫る。

2021:3./ 258p
978-4-04-400636-5
本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



江戸のことは絵事典～『訓蒙図彙』の世界～(角川選書 647)

石上 阿希 著

KADOKAWA

江戸時代に出版され、瞬く間にベストセラーとなった、日本初の絵入百科事典「訓蒙図彙」。全17部門からそれぞれ約10項目を抄出し解説するほか、時代背景、その後の系譜、諸版などについて記す。

2021:3./ 349p
978-4-04-703601-7
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



日露近代史～戦争と平和の百年～(講談社現代新書 2476)

麻田 雅文 著

講談社

伊藤博文、後藤新平、松岡洋右...彼らはなぜ英米ではなく、ロシアに接近していったのか。戦前の政治家たちの外交を検証することで、幕末から1945年の日ソ戦争に至るまでの日露関係を綴る。

日本経済新聞 2021/04/17

2018:4./ 471p

978-4-06-288476-1

本体 ¥1,320〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 2 8 8 4 7 6 1 *



デスノート<1>(集英社文庫 お 55-20)

大場 つぐみ、小畑 健 著

集英社

日本経済新聞 2021/04/17

2014:3./ 325p

978-4-08-619486-0

本体 ¥847〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 6 1 9 4 8 6 0 *



1Q84～a novel～<BOOK1 前編> 4月-6月(新潮文庫 む 5-27)

村上 春樹 著

新潮社

好もうが好むまいが、私は今この「1Q84年」に身を置いている。私の知っていた1984年はもうどこにも存在しない…。ヤナーチェックの「シンフォニエッタ」に導かれ、青豆と天吾の不思議な物語がはじまる。

日本経済新聞 2021/04/17

2012:4./ 357p

978-4-10-100159-3

本体 ¥649〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 1 0 0 1 5 9 3 *



ジャックポット

筒井 康隆 著

新潮社

嗤え、歌え、踊れ、狂え。今日も世界中が「大当たり(ジャックポット)」! コロナ、戦争、文学、ジャズ、映画、芝居、青春、老い、嫌民主主義、そして息子の死。かつてなく「筒井康隆の成り立ち方」を明かした私小説。

日本経済新聞 2021/04/17

2021:2./ 281p

978-4-10-314534-9

本体 ¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 3 1 4 5 3 4 9 *



日中相互不信の構造

張 雲 著

東京大学出版会

特殊な関係性に焦点を当てるのではなく、より一般的な国際関係の観点から日中関係を検討。理論性と実証性の融合という手法で、両国それぞれの対日・対中認知と政策、相互認知の悪化、政治的および知的対立の激化などを論じる。

日本経済新聞 2021/04/17

2021:1./ 4p,304p,70p

978-4-13-036281-8

本体 ¥8,360〔税込〕



* 9 7 8 4 1 3 0 3 6 2 8 1 8 *



国家にモラルはあるか?～戦後アメリカ大統領の外交政策を採点する～

ジョセフ・S・ナイ 著

早川書房

戦後のアメリカ大統領で最も倫理観のある外交政策をおこなったのは誰か。ソフトパワーの提唱者が歴代大統領の外交政策を一挙総括。「開かれた国際秩序」の実現のために、国家とモラルのあるべき関係を描く。

日本経済新聞 2021/04/17

2021:2./ 383p

978-4-15-210004-7

本体 ¥3,190〔税込〕



* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 0 4 7 *



チャイナ・イノベーション<2> 中国のデジタル強国戦略

李 智慧 著

日経BP社

デジタル人民元、デジタル消費券、健康コード…。われわれは「デジタル中国」とどう向き合っていくべきか? 「コロナ後」に突き進むイノベーション駆動型国家の実像を、第一人者が描く。

2021:2./ 322p

978-4-296-00010-4

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



データプライバシーの国際政治～越境データをめぐる対立と協調～

須田 祐子 著

勁草書房

国単位でデータプライバシーが規制されている個人データは、どのように外国に流れるのか。個人データの海外移転をめぐって繰り返された政府間交渉を分析し、グローバル化時代の「規制の政治」に光を当てる。

2021:2./ 5p,209p

978-4-326-30299-4

本体 ¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



平成・令和学生たちの社会運動～SEALDs、民青、過激派、独自グループ～(光文社新書 1113)

小林 哲夫 著

光文社

2010年代、学生による社会運動はどのように繰り返されたのか。SEALDs、「未来のための公共」、日本民主青年同盟、新左翼党派などに参加した学生たちが、実名で運動体験を語る。

2021:1./ 434p

978-4-334-04521-0

本体 ¥1,210〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



?介石の書簡外交～日中戦争、もう一つの戦場～<上巻>

麻田 雅文 著

人文書院

独伊への接近、スターリンへの愛憎、アメリカの支援、ノモンハン事件、そして世界大戦へ…。?介石と連合国の首脳との往復書簡を分析し、戦時下の?介石の外交と、米英ソの対華政策を再考する。

2021:1./ 254p

978-4-409-51088-9

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



?介石の書簡外交～日中戦争、もう一つの戦場～<下巻>

麻田 雅文 著

人文書院

ガンディーとアジアの独立、ローズヴェルトの死去、ビルマ、インパールから日本の敗戦、そして国共内戦へ…。?介石と連合国の首脳との往復書簡を分析し、戦時下の?介石の外交と、米英ソの対華政策を再考する。

2021:1./ 254p

978-4-409-51089-6

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



血の日本思想史～穢れから生命力の象徴へ～(ちくま新書 1561)

西田 知己 著

筑摩書房

穢れを表す「血」が、なぜ江戸時代に家族のつながりを表すようになったのか。近世における宣教師の影響や、近松門左衛門の浄瑠璃における血という語の“発明”等に注目し、日本人の生命観の変遷をたどる。

2021:3./ 302p

978-4-480-07384-6

本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



ローマ帝国衰亡史<1> 第 1-10 章(ちくま学芸文庫)

エドワード・ギボン 著

筑摩書房

日本経済新聞 2021/04/17

1995:12./ 496p,5p

978-4-480-08261-9

本体 ¥1,540〔税込〕



農政改革の原点～政策は反省の上に成り立つ～

奥原 正明 著

日本経済新聞出版社

平成の農政改革の原点は、基本法にある。基本法は、それまでの政策の深い反省の上に作られた。行政官として農政改革に携わった著者が、新旧の基本法を読み解き、政策推進のあるべき姿を考える。

2020:12./ 261p

978-4-532-17695-2

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



ザ・会社改造～340 人からグローバル 1 万人企業へ～(日経ビジネス人文庫 さ 5-4)

三枝 匡 著

日本経済新聞出版社

12 年間にわたり仕掛けてきた数々の改革が、「事業モデル」の革新を引き起こした。いかにして失敗と成功の壁をよじ登り、「会社改造」と呼べるほど、組織を違う生きものに变身させていったか。プロ経営者が綴る改革のドラマ。

2019:3./ 489p

978-4-532-19889-3

本体 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



「ブレグジット」という激震～混迷するイギリス政治～

スティーブン・デイ／カ久 昌幸 著

ミネルヴァ書房

イギリスの EU 離脱はどのような経緯で展開したのか。政治的出来事と政治過程の両面を 2016?2020 年の時期を取り上げて描写。国民投票による EU 離脱という決定のインパクトとその帰結が与えた影響についても検討する。

2021:2./ 13p,324p,9p

978-4-623-09063-1

本体 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



超訳易経陰～坤為地ほか～

竹村 亜希子 著

新泉社

四書五経のトップに挙げられる中国最古の思想哲学書「易経」。その中から、陰の代表卦「坤為地」を中心に、天雷无妄、地天泰、天地否、天下同人、坎為水、山天大畜など 17 の卦を取り上げて、やさしく解説する。

2020:9./ 343p

978-4-7877-2018-4

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



スコットランドの選択～多層ガヴァナンスと政党政治～

カ久 昌幸 著

木鐸社

多層ガヴァナンスと政党政治に関するケース・スタディとして、スコットランドへの権限移譲改革および分離独立住民投票をめぐる政党政治に関して、主要な 4 つの政党の対応に焦点を当てて検討する。

2017:2./ 287p

978-4-8332-2511-3

本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



制服ガールの総力戦〜イギリスの「女の子」の戦時貢献〜

杉村 使乃 著
春風社

女性は戦争にどのように関わったのか？ 制服の女性は戦時下のメディアでどのように取り上げられたのか？ 第二次世界大戦時のイギリスの制服姿の女性を通して、「女性活躍」の表象を読み解く。

2021:2./ 224p,7p
978-4-86110-603-3
本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



「繊細さん」の本〜「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる〜

武田 友紀 著
飛鳥新社

繊細さんは、自分のままで生きることによってどんどん元気になっていく！ HSP(とても敏感な人)専門カウンセラーが、繊細でストレスを感じやすい人が、繊細な感性を大切にしながら、ラクに生きる方法を伝授する。

2018:8./ 238p
978-4-86410-626-9
本体 ¥1,324〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



わたしは繊細さん〜まんがでわかる!HSP が自分らしく生きる方法〜

竹島波 著
飛鳥新社

周りの人の機嫌が気になる、光や音、匂いに敏感、友達との会話では主に聞き役、悲しいニュースを見ると落ち込む…。それって「とても敏感な人(HSP)」かも。ストーリーマンガで HSP が自分らしく生きる方法を紹介する。

2020:11./ 252p
978-4-86410-791-4
本体 ¥1,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



その生きづらさ、「かくれ繊細さん」かもしれません

時田 ひさ子 著
フォレスト出版

HSP(繊細さん)というほどではないけれど、傷つきやすい、ウジウジしている、人と会った後はどっと疲れる…。人一倍、感受性の強い「かくれ繊細さん」が、自分の才能を引き出し、自分を好きになる方法を紹介する。

2020:11./ 275p
978-4-86680-107-0
本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17



私の名前を知って

シャネル・ミラー 著
河出書房新社

2015 年、米スタンフォード大学で有名な白人水泳選手が起こした性暴力事件。その判決は、わずか禁固 6 ケ月だった。全世界に性暴力とはなにかを教え、差別への考え方を決定的に変えた、衝撃の回顧録。

2021:2./ 468p
978-4-309-20818-3
本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/17、朝日新聞 2021/04/24



今さら聞けないお金の超基本〜節約・貯蓄・投資の前に〜

朝日新聞出版

近年、お金をとりまく状況がダイナミックに変わってきている。「稼ぐ」「納める」「貯める」「使う」「備える」「増やす」など、お金を機能別にとらえなおして、わかりやすく図解する。

2018:8./ 238p
978-4-02-333220-1
本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



今さら聞けない投資の超基本～株・投資信託・iDeCo・NISA がわかる～(大人のリテラシー)

泉美智子 著
朝日新聞出版

口座の開き方といった投資の基礎知識から、iDeCo・NISA、株式投資や債権投資、投資信託、FX・金・不動産投資まで、誰でも投資を始められるよう、図やイラストを用いてわかりやすく解説する。投資メモ欄あり。

2021:3./ 190p
978-4-02-334012-1
本体 ¥1,320〔税込〕
* 9 7 8 4 0 2 3 3 4 0 1 2 1 *

日本経済新聞 2021/04/24



「低度」外国人材～移民焼き畑国家、日本～

安田 峰俊 著
KADOKAWA

学歴・年収が低く、日本語はろくに喋れず専門知識もない、非熟練労働に従事している「低度」外国人材。3年に亘り、中国、ベトナム、日本各地を回り、絶対的な弱者でも敵でもない、彼らの生身の姿に迫ったディープリポ。

2021:3./ 260p
978-4-04-106968-4
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 6 9 6 8 4 *

日本経済新聞 2021/04/24



ヨハネの黙示録(講談社学術文庫 2496)

講談社

禍いを呼ぶラッパ、666、ハルマゲドーン、偽預言者-。不吉なイメージがシンボリックにちりばめられた「ヨハネの黙示録」。破滅の匂いが戦慄を呼ぶ「最後の正典」のすべてを、80点余の図像とともに明らかにする。

2018:5./ 231p
978-4-06-292496-2
本体 ¥1,012〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 2 9 2 4 9 6 2 *

日本経済新聞 2021/04/24



日蓮

佐藤 賢一 著
新潮社

救国の聖人か。過激な狂信者か-。天変地異、疫病の流行など災難が連続する鎌倉時代中期に、苦しむ民を救うため、権力者と戦い続けた日蓮の半生を描く。『小説新潮』連載を単行本化。

2021:2./ 366p
978-4-10-428004-9
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 4 2 8 0 0 4 9 *

日本経済新聞 2021/04/24



サラ金の歴史～消費者金融と日本社会～(中公新書 2634)

小島 庸平 著
中央公論新社

日本の経済史上、最も浮沈の激しい業界の一つだったサラ金の歴史には、近現代の日本社会が経験したダイナミックな変化が鮮やかに反映している。1960年代に生まれたサラ金の歴史を、その前後の時期も含めてたどる。

2021:2./ 6p,344p
978-4-12-102634-7
本体 ¥1,078〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 3 4 7 *

日本経済新聞 2021/04/24



カラスをだます(NHK 出版新書 646)

塚原 直樹 著
NHK出版

「カラス語」研究者にしてカラス対策専門ベンチャー創業者が、長年の鳴き声研究のエッセンスから科学的な追い払い方まで、豊富な事例とともに楽しく解説。「カラスはなぜ黒い?」等の疑問にも詳しく答える。

2021:2./ 254p
978-4-14-088646-5
本体 ¥935〔税込〕
* 9 7 8 4 1 4 0 8 8 6 4 6 5 *

日本経済新聞 2021/04/24



田舎のボルシェ

篠田 節子 著

文藝春秋

実家の米を引き取るため大型台風が迫る中、強面ヤンキーの運転する軽トラで東京を目指す女性。波乱だらけの強行軍を描いた表題作ほか、心躍るロードノベル全 3 篇を収録する。『オール讀物』掲載を単行本化。

2021.4./ 270p

978-4-16-391355-1

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



マンガでわかる高校生からのお金の教科書

小柳 順治 著

河出書房新社

2022 年、学習指導要領の改訂で、高校の授業で金融教育が実施される。「お金とは何か?」「なんのために働くのか?」「税金は何のためにあるのか?」「投資とは何か?」など、お金の基本をストーリーマンガで解説する。

2021.3./ 159p

978-4-309-24999-5

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



家庭の金銭学

リック・イーデルマン/方波見 寧 著

金融財政事情研究会

家計管理から投資による資産形成、保険、税金、相続まで網羅した米国を代表するファイナンシャル・プランナーの名著に、日本の諸制度への適用とコロナ危機下での活用法を付加。ファイナンシャル・プランニングの神髄を伝える。

2021.3./ 15p,891p

978-4-322-12557-3

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



ネットフリックス vs. ディズニー～ストーリーミングで変わるメディア勢力図～

大原 通郎 著

日本経済新聞出版社

躍動するネットフリックス、事業転換を図るディズニー、既存メディアを呑み込むGAFA、アジアで支配力を強める中国勢。存在感を失う日本-。デジタルメディアウォッチャーが「ストーリーミング・ファースト」の最前線を追う。

2021.3./ 259p

978-4-532-32383-7

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



踊る熊たち～冷戦後の体制転換にもがく人々～

ヴィトルト・シャブウォフスキ 著

白水社

引退した熊は自由であることがつらくなると、後ろ足で立って踊り出し…。ブルガリアに伝わる「踊る熊」の伝統の終焉と、ソ連崩壊後の旧共産主義諸国の人々の今を、ポーランドの気鋭がレポートする。

2021.3./ 295p

978-4-560-09823-3

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



童謡はどこへ消えた～子どもたちの音楽手帖～(平凡社新書 778)

服部 公一 著

平凡社

世の中に童謡が流れなくなって久しい。子どもを魅了した童謡は、時代の流れに取り残されてしまったのか。長く童謡作曲を手掛けてきた著者が、日本に童謡が生まれた時代的な意義と歴史、私的な交遊録などを縦横無尽に綴る。

2015.6./ 245p

978-4-582-85778-8

本体 ¥902〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



時代おくれの人間<上> 第二次産業革命時代における人間の魂 (叢書・ユニベルシタス 431)

ギュンター・アンダース、青木 隆嘉 著

法政大学出版局

旧来の哲学的人間学の根底をなす形而上学と体系的思考を排し、環境破壊、核の脅威、マスメディアによる大衆支配など、人類を覆う危機と底深いニヒリズムの根源を暴く。アンダースの思想の全体像を示す主著。

2016:5./ 10p,421p

978-4-588-14032-7

本体 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



時代おくれの人間<下> 第三次産業革命時代における生の破壊 (叢書・ユニベルシタス 432)

ギュンター・アンダース、青木 隆嘉 著

法政大学出版局

原子力の開発と情報化社会をもたらした第三次産業革命後の労働と消費生活における人間疎外の状況を洞察し、技術の専制支配を問い、変革のための哲学的指針を提示する。テクノクラシー時代の哲学的人間学。

2016:5./ 25p,520p

978-4-588-14033-4

本体 ¥6,380〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



無意識のバイアス～人はなぜ人種差別をするのか～

ジェニファー・エバーハート 著

明石書店

悪意の有無に関係なく存在する偏見、バイアス。それはいかんにして脳に刻まれ、他者に伝染し、ステレオタイプを形作っているのか。米国の学校・企業・警察署の改革に努める心理学者が、無意識の現実を解く。

2020:12./ 373p

978-4-7503-5123-0

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



ヒップホップ・モンゴリア～韻がつむぐ人類学～

島村 一平 著

青土社

伝統文化とヒップホップの文化的連続性、ヒップホップとディアスポラ問題…。現代モンゴル社会とヒップホップのラッパーたちとの関係の中で織りなされてきた世界-ヒップホップ・モンゴリアを描く、異色の人類学ドキュメント。

2021:2./ 421p

978-4-7917-7351-0

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



家は生態系～あなたは 20 万種の生き物と暮らしている～

ロブ・ダン 著

白揚社

玄関は「草原」、冷凍庫は「ツンドラ」、シャワーヘッドは「川」。生態学者が家を調べると、そこには様々な生き物がすみつき、複雑な生態系をつくりあげていた！暮らしや健康に大きな影響を与える一番身近な「自然」の話。

2021:2./ 422p

978-4-8269-0223-6

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/04/24



そのとき、「お金」で歴史が動いた

ホン・チュヌク 著

文響社

1日1話、55のストーリーでみるみる「お金の教養」が身につく! 「最も信頼されるアナリスト」にも選ばれた韓国の経済学者が、金融という視点から世界史の流れを立体的かつ具体的に説く。

日本経済新聞 2021/04/24

2021.1./ 383p

978-4-86651-335-5

本体 ¥2,585〔税込〕



王室外交物語〜カラー版〜(光文社新書 1120)

君塚 直隆 著

光文社

時代遅れな遺物と思われがちな王室や皇室が、現代に重要な意味を持ち、「外交」の面で力を発揮しているのはなぜか。イタリアの近代外交の夜明けから英王室の発展までをカラー図版とともに辿り、日本の皇室のあり方も振り返る。

日本経済新聞 2021/04/24、産経新聞 2021/04/25

2021.3./ 237p

978-4-334-04527-2

本体 ¥1,166〔税込〕



江戸漢詩選<上>(岩波文庫 30-285-1)

岩波書店

江戸時代に花開いた日本の漢詩から 320 首を選び、小伝や丁寧な語注と共に編んだアンソロジー。上は、幕初期から中期まで、藤原惺窩、林羅山、新井白石、荻生徂徠、菅茶山らの詩を収録する。

毎日新聞 2021/04/03

2021.1./ 469p

978-4-00-302851-3

本体 ¥1,320〔税込〕



江戸漢詩選<下>(岩波文庫 30-285-2)

岩波書店

江戸時代に花開いた日本の漢詩から 320 首を選び、小伝や丁寧な語注と共に編んだアンソロジー。下は、後期以降の柏木如亭や大窪詩仏、頼山陽、そして西郷隆盛ら幕末の志士の詩も収録する。

毎日新聞 2021/04/03

2021.3./ 492p

978-4-00-302852-0

本体 ¥1,320〔税込〕



窓ぎわのトットちゃん 新組版(講談社文庫 く10-2)

黒柳 徹子 著

講談社

「きみは、本当は、いい子なんだよ!」校長先生はトットちゃんにいつもそう言った。トモエ学園の個性を伸ばす教育と、そこに学ぶ子供たちを生き生きと描いた名作。字が大きくて読みやすく、絵も鮮明に美しかった新組版。

毎日新聞 2021/04/03

2015.8./ 377p

978-4-06-293212-7

本体 ¥880〔税込〕



「顔」の進化〜あなたの顔はどこからきたのか〜(ブルーバックス B-2159)

馬場 悠男 著

講談社

顔とは何か。なぜそこに「部品」が集まっているのか。ヒトの顔はなぜ違うのか。どう進化したのか。ヒトの白眼はなぜ目立つのか。人類学の第一人者が、顔のあらゆる疑問を読み解く。顔に関する不思議が満載。

毎日新聞 2021/04/03

2021.1./ 270p

978-4-06-522231-7

本体 ¥1,100〔税込〕





柄谷行人対話篇<1> 1970-83(講談社文芸文庫 か B18)

柄谷 行人 著
講談社

1969 年に群像新人文学賞評論部門を受賞した柄谷行人は、その後、折に触れ多様な人物との対話を重ねた。1 は、1970 年から 83 年にかけてなされた、吉本隆明、中村雄二郎、寺山修司らとの対話全 7 篇を収録する。

毎日新聞 2021/04/03

2021.3./ 341p
978-4-06-522856-2
本体 ¥2,310〔税込〕



マスクは踊る

東海林 さだお 著
文藝春秋

通販 CM のえげつなさに目を見張り、ズルばかりはびこる政治に赤面しつつ、コロナ禍のマスク顔観察に余念がなく…。東海林ワールド全開のエッセイに「タンマ君」傑作選を付す。『オール讀物』『週刊文春』掲載を単行本化。

毎日新聞 2021/04/03

2021.1./ 237p
978-4-16-391324-7
本体 ¥1,540〔税込〕



日本の包茎～男の体の 200 年史～(筑摩選書 0205)

澁谷 知美 著
筑摩書房

多数派なのに思い悩み、医学的には不要な手術を選ぶ男たち。仮性包茎はいつ、どのようにして「恥」になったのか。幕末から現代までの文献を解説し、深層を浮かび上がらせる。

毎日新聞 2021/04/03

2021.2./ 276p
978-4-480-01723-9
本体 ¥1,760〔税込〕



イスラム教再考～18 億人が信仰する世界宗教の実相～(扶桑社新書 370)

飯山陽 著
育鵬社

多発する過激派テロ、信教の自由も LGBT も否定、女性の価値は男性の半分…。イスラム教は本当に異教徒に寛容で穏健な宗教なのか。学者・メディアがつくった「常識」を問い直し、イスラム教徒とあるべき共生の道筋を示す。

毎日新聞 2021/04/03

2021.3./ 279p
978-4-594-08736-4
本体 ¥968〔税込〕



図説享徳の乱～新視点・新解釈で明かす戦国最大の合戦クロニクル～

黒田 基樹 著
戎光祥出版

享徳 3 年、鎌倉公方足利成氏が関東管領の上杉憲忠を謀殺した事件をきっかけとして、関東を舞台に展開された 29 年におよぶ享徳の乱。その基本的な動向を、足利成氏と上杉方勢力との抗争の過程を中心にまとめる。

毎日新聞 2021/04/03

2021.4./ 163p
978-4-86403-382-4
本体 ¥1,980〔税込〕



家族の味

平野 レミ 著
ポプラ社

はじめて料理を作った思い出から、夫・和田誠とのなれそめ、子育て方針まで、家族と料理への愛情が詰まった、平野レミのエッセイ集。29 品のオリジナルレシピのほか、和田誠との対談、阿川佐和子、清水ミチコとの鼎談も収録。

毎日新聞 2021/04/03、産経新聞 2021/04/18

2021.3./ 152p
978-4-591-16969-8
本体 ¥1,540〔税込〕





代理母、はじめました

垣谷 美雨 著

中央公論新社

独身のまま子供が欲しい、もう不妊治療をやめたい…。貧困と虐待から脱するため、代理母ビジネスを始めた少女ユキ。葛藤と不合理だらけの“命”の現場で、医師の芽衣子やゲイのミチオと共に、女たちの自由を求めて立ち上がる!

2021:2./ 295p

978-4-12-005392-4

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/04/03、朝日新聞 2021/04/17



在宅ひとり死のススメ(文春新書 1295)

上野 千鶴子 著

文藝春秋

おひとりさまでも、認知症でも大丈夫。大好きな自宅で、自分らしい幸せな最期を迎えるための準備と心構えを伝える。「おひとりさまの最期」を支える医療・介護・看取りの最前線も紹介する。

2021:1./ 209p

978-4-16-661295-6

本体 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2021/04/03、朝日新聞 2021/04/17



正欲

朝井 リョウ 著

新潮社

生き延びるために、手を組みませんか-。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か? 目を背けたくなる問題作か? 朝井リョウの作家生活 10 周年を記念した書下ろし長篇小説。

2021:3./ 379p

978-4-10-333063-9

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/04/04



アンブレイカブル

柳 広司 著

KADOKAWA

1925 年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と信念を貫く男たちとの闘いが始まった-。小林多喜二、三木清…。法の贅となった、敗れざる者たちの矜持を描く。歴史スパイ・ミステリ。

2021:1./ 262p

978-4-04-110941-0

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10



戻ってきた娘

ドナテッラ・ディ・ピエトラントニオ 著

小学館

中流家庭の一人娘として育った 13 歳の「わたし」は、突然貧しい実の家族のもとに返された。父親と兄たちの暴力が絶えない家の中で、「戻ってきた娘」が唯一感情を分かち合えたのは、奔放な妹のアドリアーナだった-。

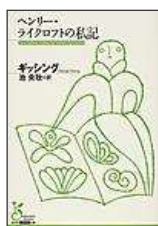
2021:3./ 237p

978-4-09-356722-0

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10



ヘンリー・ライクロフトの私記(光文社古典新訳文庫 KA キ 2-1)

ギッシング 著

光文社

どん底の境遇のなかで謹厳実直に物を書き続けて 30 余年。不意に多少の財産を手にしたライクロフトは、都会を離れて閑居する。自然の美しさに息を呑み、古典文学を読み耽りながら、自らの来し方を振り返る日々…。自伝的小説。

2013:9./ 331p

978-4-334-75278-1

本体 ¥1,152〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10



エマニュエル・トッドの思考地図

エマニュエル・トッド 著

筑摩書房

混迷の時代を見通す真の思考とはいかなるものか。時代の潮流を的確に見定め、独自の分析眼をもとにイギリスの EU 離脱、ソ連崩壊などを的中させてきた著者が、思考の極意を語り明かす。ブックガイドも収録する。

毎日新聞 2021/04/10

2020.12./ 236p

978-4-480-84753-9

本体 ¥1,650〔税込〕



戦国佐竹氏研究の最前線

佐々木 倫朗／千葉 篤志 編

山川出版社

戦国期、小田原北条氏に対抗した代表的存在であり、伊達氏の関東進攻を阻み、豊臣政権下で五十四万石の大大名となった佐竹氏。戦国佐竹氏研究の「現在」を、最前線で活躍する研究者 10 人がわかりやすく解説する。

毎日新聞 2021/04/10

2021.3./ 335p

978-4-634-15181-9

本体 ¥1,980〔税込〕



こいわずらわしい

メレ山 メレ子 著

亜紀書房

揺れる心模様と、深く息つきができたと感じるあの瞬間-。人と人との間で交わされる、恋と愛のエピソードを渉猟する日々を丹念に綴ったコラム集。穂村弘との対談も収録。WEB サイト『ナポレオン』連載を元に書籍化。

毎日新聞 2021/04/10

2021.1./ 174p

978-4-7505-1669-1

本体 ¥1,430〔税込〕



世界のおやつ～おうちで作れるレシピ 100～

鈴木 文 著

パイインターナショナル

マドレーヌ(フランス)、ポテトプディング(ジャマイカ)、チュー(ベトナム)...。旅するパティシエールが現地の人々から習得した、世界 36 カ国のおやつレシピ 100 点を紹介。難易度や、写真付きのコラムも掲載する。

毎日新聞 2021/04/10

2021.2./ 207p

978-4-7562-5451-1

本体 ¥2,035〔税込〕



新型コロナデータで迫るその姿～エビデンスに基づき理解する～ (DOJIN 選書 89)

浦島 充佳 著

化学同人

死亡リスクを上げる因子、世界の死亡率格差が大きい理由、ワクチンの有効性、効果が期待される治療薬...。国内外のデータや医学論文を徹底的に分析し、新型コロナの全体像を詳細に描き出す。

毎日新聞 2021/04/10

2021.3./ 279p

978-4-7598-2063-8

本体 ¥2,310〔税込〕



文豪たちのスペイン風邪(紙礫 14)

皓星社

文豪たちは 100 年前のパンデミックをどう見、どう書き残したか? 志賀直哉「流行感冒」、菊池寛「マスク」、谷崎潤一郎「途上」などを収録した、「スペイン風邪」をめぐるアンソロジー。紅野謙介、金貴粉による解説付き。

毎日新聞 2021/04/10

2021.2./ 197p

978-4-7744-0737-1

本体 ¥2,200〔税込〕





エノグ屋の言葉集～月光荘のユーモアカードと色ポエム～

月光荘 著

産業編集センター

銀座の画材店・月光荘では、色と言葉はぴったり?寄せる大切なパートナー。絵と言葉を合わせた、月光荘で人気のポストカード「ユーモアカード」や、自社製エノグへの思いを綴る「色ポエム」等を収録。本体は背表紙なし糸綴じ。

2021.3./ 175p

978-4-86311-291-9

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10



ワクチン いかに決断するか～1976 年米国リスク管理の教訓～

リチャード・E・ニュースタット／ハーヴェイ・V・ファインバーグ 著

藤原書店

1976 年にアメリカで起きた、公衆衛生行政における一大事件について、行政内部の意思決定の過程を詳細に検証した報告書をベースに、さらにこの出来事を将来への教訓として生かすための工夫を加えて解説する。

2021.2./ 464p

978-4-86578-300-1

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10



超訳ケインズ『一般理論』

山形 浩生 編

ジョン・メイナード・ケインズ 著

東洋経済新報社

社会科学史上で最も影響力のある世界的名著、ケインズ著『一般理論』。山形浩生による超訳・抄訳で、ケインズが本当に伝えたかったことをわかりやすく、エッセンスを凝縮して解説する。

2021.3./ 8p,235p

978-4-492-31535-4

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10、東京・中日新聞 2021/04/18



「敦煌」と日本人～シルクロードにたどる戦後の日中関係～(中公選書 117)

榎本 泰子 著

中央公論新社

1980 年代にわき起こった空前のシルクロードブーム。日本人が大陸に寄せたロマンとは何か。あの熱狂はなぜ生まれ、なぜ消えたのか。日本人の心の中の中国をあぶりだし、日中関係のこれからを考える。

2021.3./ 7p,324p

978-4-12-110117-4

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10、日本経済新聞 2021/04/17



リングサイド

林 育徳 著

小学館

毎晩ケーブルテレビで三沢光晴を応援する、ばあちゃんと俺。ある日俺はとんでもないことを知ってしまい…。第 18 回台北文学賞小説部門大賞受賞作「ばあちゃんのエメラルド」など全 10 編を収録。台湾発のプロレス連作短編集。

2021.2./ 318p

978-4-09-386588-3

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/04/10、毎日新聞 2021/04/17、読売新聞 2021/04/25



プリンセスお母さん

並庭 マチコ 著

KADOKAWA

豪華なホテルに泊まると「私の城へようこそ」ともてなし、?油さしをしゃべらせ、推しのポールをこよなく愛する母・並庭「カトリーズ」ママ子。抱腹絶倒、だけど家族愛に満ち溢れた並庭家の日常を描いたコミックエッセイ。

2019.11./ 141p

978-4-04-064104-1

本体 ¥1,155〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



プリンセスお母さん<2>

並庭 マチコ 著

KADOKAWA

思考は常にエレガントに、トップとしての意識は忘れずに…。プリンセスの心を抱いて日々を送る主婦・並庭“カトリーズ”ママ子。抱腹絶倒、だけど家族愛に満ち溢れた並庭家の日常を描いたコミックエッセイ、第2弾。

2020/8./ 139p

978-4-04-064776-0

本体 ¥1,155〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



なぎの葉考・しあわせ(P+D BOOKS)

野口 富士男 著

小学館

男が 40 年前の遊郭での一夜の記憶を辿っていく様を描いた、川端康成文学賞受賞作「なぎの葉考」、老夫婦が重い病気を抱えながら命を長らえていることにささやかな幸福を感じる「しあわせ」など、秀逸な短編全 7 編を収録。

2021/3./ 191p

978-4-09-352412-4

本体 ¥660〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



海潮音～上田敏訳詩集～ 改版(新潮文庫 う-2-1)

上田 敏 著

新潮社

毎日新聞 2021/04/17

2006/9./ 181p

978-4-10-119401-1

本体 ¥440〔税込〕



中国が宇宙を支配する日～宇宙安保の現代史～(新潮新書 898)

青木 節子 著

新潮社

2016 年 8 月、世界初の量子科学衛星打ち上げに成功した中国。米中衝突はここで始まった! 宇宙開発技術の実力を外交にも利用する中国。迎え撃つ覇者・米国の現状は? 日本はどう動くのか? 「宇宙安保」の最前線に迫る。

2021/3./ 221p

978-4-10-610898-3

本体 ¥836〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



文部科学省～揺らぐ日本の教育と学術～(中公新書 2635)

青木 栄一 著

中央公論新社

「三流官庁」とも揶揄される文部科学省の実態はどのようなものか。霞が関最小の人員、キャリア官僚の昇進ルート、減り続ける予算など実状を解説。さらに、ゆとり教育の断念、学術研究の弱体化など続出する問題に迫る。

2021/3./ 288p

978-4-12-102635-4

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



いかさま師ノリス(エクス・リブリス・クラシックス)

クリストファー・イシャウッド 著

白水社

1930 年代のベルリン。ワケありな紳士ノリスと知り合ったウィリアム。ある時、取引先に知り合いの男爵を引き合わせるよう頼まれるが、その取引先とは海外の情報機関で…。ナチス台頭前夜の狂乱の日々を鋭い洞察力で描く。

2020/12./ 278p

978-4-560-09916-2

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/04/17



市川房枝～後退を阻止して前進～(ミネルヴァ日本評伝選)

村井 良太 著
ミネルヴァ書房

戦前は女性参政権獲得運動を牽引し、戦後は参議院議員として女性の地位向上に努めた市川房枝。その足跡を追うことで、日本におけるデモクラシーの来歴を辿り、女性の政治参加や社会運動、自由主義、国際連帯について考える。

2021:2./
17p,344p,11p
978-4-623-09094-5
本体 ¥3,850〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 3 0 9 0 9 4 5 *

毎日新聞 2021/04/17



SAPEURS～ファッションで道を切り拓く、サプールという生き方～

タリーク・ザイディ、ヤナガワ 智予 著
青幻舎

粋で優雅なコンゴの「サプール」たちが帰ってきた! 老若男女さまざまな「サップ」の精神をもつファッションистたちを丁寧に紹介した写真集。彼らが身につけているアイテムも解説し、サプールたちの素顔や背景に迫る。

2020:11./ 175p
978-4-86152-804-0
本体 ¥3,850〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 1 5 2 8 0 4 0 *

毎日新聞 2021/04/17



ヴァイゼル・ダヴィデク(東欧の想像力 19)

パヴェウ・ヒュレ 著
松籟社

旱魃が続き、海が魚の死骸で埋め尽くされた 1967 年の夏。その異常な季節を、「僕」と仲間たちは、ヴァイゼルというユダヤ人少年と共に過ごした。夏の終わりヴァイゼルは姿を消す。ヴァイゼルとは何者だったのか…。

2021:3./ 351p
978-4-87984-398-2
本体 ¥2,860〔税込〕
* 9 7 8 4 8 7 9 8 4 3 9 8 2 *

毎日新聞 2021/04/17



フランケンシュタイン(創元推理文庫)

メアリ・シェリー、森下 弓子 著
東京創元社
毎日新聞 2021/04/24

1984:2./ 329p
978-4-488-53201-7
本体 ¥814〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 5 3 2 0 1 7 *



ドリアン・グレイの肖像(岩波文庫 赤 245-1)

オスカー・ワイルド、富士川 義之 著
岩波書店

19 世紀末、ロンドン。快楽に耽り悪行に手を染めながらも若さを保ちつつけるドリアンと、彼の魂そのままに次第に恐ろしい醜悪な姿に変貌する肖像画との対比を描く。

2019:9./ 509p
978-4-00-322459-5
本体 ¥1,254〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 3 2 2 4 5 9 5 *

毎日新聞 2021/04/24



ゼーノの意識<上>(岩波文庫 37-706-1)

ズヴェーヴォ 著
岩波書店

医師の勧めで回想録を書き始めた主人公ゼーノ。嫉妬、虚栄心、背徳感、己を苛んだ感情を蘇らせながらも、精神分析医のごとく人生を淡々と語る。「意識の流れ」を精緻に描き出した、イタリアの作家ズヴェーヴォの代表作。

2021:1./ 370p
978-4-00-377009-2
本体 ¥1,067〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 3 7 7 0 0 9 2 *

毎日新聞 2021/04/24



ゼーノの意識<下>(岩波文庫 37-706-2)

ズヴェーヴォ 著

岩波書店

あれこれと思いをめぐらし、来し方を振り返るゼーノ。その当てどない意識の流れが、不思議にも彼の人生を鮮やかに映し出し…。『意識の流れ』を精緻に描き出した、イタリアの作家ズヴェーヴォの代表作。

2021.2./ 386p

978-4-00-377010-8

本体 ¥1,067〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



手の倫理(講談社選書メチエ 735)

伊藤 亜紗 著

講談社

人が人の体にさわる/ふれるとき、そこにはどのような緊張や信頼、あるいは交渉や譲歩が交わされているのか。さまざまな場面における手の働きに注目しながら、そこにある触覚ならではの関わりのかたちを明らかにする。

2020.10./ 214p

978-4-06-521353-7

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



バグダードのフランケンシュタイン

アフマド・サアダーウィー／柳谷 あゆみ 著

集英社

連日自爆テロの続く 2005 年のバグダード。吹き飛んだ遺体の残骸から生み出された怪物は、自分に死をもたらした者どもに復讐を誓い、混沌の夜を駆け巡る。国家と社会を痛烈に皮肉るエンタテインメント群像劇。

2020.10./ 396p

978-4-08-773504-8

本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



山椒魚 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著

新潮社

老成と若さの不思議な混淆、これを貫くのは豊かな詩精神。飄々として明るく跟々として暗い。本書は初期の短編より代表作を収める短編集である。岩屋の中に棲んでいるうちに体が大きくなり、外へ出られなくなった山椒魚の狼狽、かなしみのさまをユーモラスに描く処女作「山椒魚」、大空への旅の誘いを抒情的に描いた「屋根の上のサワン」ほか、「朽助のいる谷間」など 12 編。

1996.2./ 270p

978-4-10-103402-7

本体 ¥539〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



となりの一休さん

伊野孝行 著

春陽堂書店

とんちの一休さんは、大酒のみで女好きの、とんでもない破戒僧だった？ 木刀を振り回したり、職場放棄し居酒屋に入り浸ったり、77 歳で 50 歳下の彼女を作ったり…。破天荒な一面と、それだけではない素顔の一休さんに迫る。

2021.3./ 197p

978-4-394-90397-0

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



世界史は化学でできている～絶対に面白い化学入門～

左巻 健男 著
ダイヤモンド社

火の発見とエネルギー革命、歴史を変えたビール・ワイン・蒸留酒、金・銀への欲望、石油に浮かぶ文明、ドラッグの魔力、化学兵器と核兵器…。化学の成果がどのように歴史に影響を与えてきたのか、その光と闇を紹介する。

2021.2./ 390p
978-4-478-11272-4
本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



ロンドン謎解き結婚相談所(創元推理文庫 Mモ 9-1)

アリスン・モントクレア 著
東京創元社

戦後ロンドン。スパイ活動のスキルを持つアイリスと、人の内面を見抜く鋭い目を持つグウェン。2人が営む結婚相談所で、若い美女に誠実な青年を紹介した矢先、女性が殺され、青年が逮捕される。2人は真犯人捜しに乗りだし…。

2021.2./ 462p
978-4-488-13409-9
本体 ¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



石橋湛山の65日

保阪 正康 著
東洋経済新報社

昭和31年、わずか65日で終わった石橋湛山政権。反骨の言論人が、戦後、政治家の道を歩み、首相の座を降りるまでの激動の保守政治の史実を克明に描き、短命に終わった「まぼろしの政権」が日本人に投げかけた謎に迫る。

2021.3./ 333p
978-4-492-06192-3
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



日高線の記憶

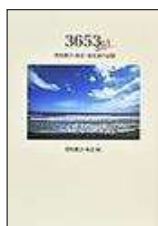
番匠 克久 著
北海道新聞社

令和2年10月27日、翌年4月1日をもって、JR日高本線鶴川?様似間の廃止が決定された。自然災害で不通となった鉄道を復旧せずに廃止する、という運命をたどることになった日高線の魅力を振り返る。

2021.3./ 85p
978-4-86721-013-0
本体 ¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24



3653 日目～<塔短歌会・東北>震災詠の記録～(叢書東北の声 42)

塔短歌会・東北 編
花山 周子／梶原 さい子 著
荒蝦夷

足下が大きく揺れて長く揺れしだいに傾ぐ雪のふる空 東日本大震災の発生した2011年から毎年、塔短歌会の東北に関わるメンバーが発刊してきた9冊の冊子をまとめた書。24人の1273首を収録する。

2021.3./ 475p
978-4-904863-71-8
本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/04/24